

令和 2 年 度

# 主要施策の成果に関する調書

観光・文化スポーツ部



# 目 次

<b>2 地域を愛し世界に通用する人材の育成と文化・スポーツの振興</b> .....	1
(1) 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成.....	1
① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実.....	1
② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用.....	5
③ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信.....	9
④ 文化芸術振興の推進体制の整備.....	10
(2) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興.....	11
① スポーツを通じた交流の推進等.....	11
<b>9 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現</b> .....	15
(1) 国内外における戦略的なPRの展開.....	15
① ICT等を活用したPRの展開.....	15
② オール鹿児島によるPRの展開.....	17
(2) 観光維新 鹿児島島の創造.....	21
① 魅力ある癒やしの観光地の形成.....	21
② 戦略的な誘客の展開.....	23
(3) かごしまの「食」などの国内外マーケットへの戦略的な展開 .....	45
① 海外展開に対する支援の充実・強化 .....	45
(4) 国際化と多文化共生の実現.....	50
① 交流会議等を核とした国際交流の充実.....	50
② 日本人と外国人が共生する地域づくり .....	56
(5) 「鹿児島のウェルネス」のブランド化と交流の促進 .....	59
① 「鹿児島のウェルネス」を活用した誘客促進 .....	59
<b>10 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興</b> .....	60
(1) イノベーションの創出と競争力のある産業の振興.....	60
① 地域特性を生かした産業の振興 .....	60
<b>13 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策</b> .....	66
(1) 感染症拡大防止対策と医療体制整備.....	66
(2) 雇用の維持と事業の継続.....	70
(3) 子育て世帯などへの支援.....	72
(4) 経済活動の回復.....	73



## 2 地域を愛し世界に通用する人材の育成と文化・スポーツの振興

### (1) 文化の薫り高いふるさとかごしまの形成

#### ① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
文化推進費	11,295	4,523	—	6,772	10,286	4,323	—	5,963
内 青少年のための芸術鑑賞事業	1,528	—	—	1,528	1,521	—	—	1,521
内 文化芸術創造活動支援事業	5,154	2,471	—	2,683	4,598	2,299	—	2,299
内 「県民の日7・14」記念式典等実施事業	4,331	2,052	—	2,279	4,163	2,024	—	2,139
内 地域伝統芸能全国大会推進事業	282	—	—	282	4	—	—	4
文化施設費	377,982	—	356,099	21,883	377,972	—	356,061	21,911
内 文化施設活性化事業	377,982	—	356,099	21,883	377,972	—	356,061	21,911
計	389,277	4,523	356,099	28,655	388,258	4,323	356,061	27,874

#### (1) 青少年のための芸術鑑賞事業（文化振興課）

##### <1> 施策の目的

県内各地において、小・中学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に関する興味・関心を喚起するとともに、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

##### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

###### ア 内容

器楽、声楽、邦楽、バレエ、日本舞踊

###### イ 公演数及び鑑賞者数

年度	公演数	鑑賞者数
H30	9公演	3,194人
R1	9公演	2,510人
R2	4公演	576人

※ R2年度は、当初9公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、4公演に減少した。

##### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内各地の児童生徒等に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

#### (2) 文化芸術創造活動支援事業（文化振興課）（地方創生関連事業）

##### <1> 施策の目的

明治維新150周年を機に高まった機運を一過性に終わらせることなく、良質で多様な文化芸術の創造活動の更なる活性化と県民の主体的・持続的で豊かな文化芸術の充実を図るために、文化芸術事業への支援を実施する。

##### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

###### ア 活動支援

鹿児島が持つ多様な文化芸術を更に発展・充実させ、かつ、持続性のある文化芸術活動を目指し、県内で実施される文化芸術事業として、以下のような取組を行う事業へ助成を行う。（補助率：3分の1以内 上限500千円）

(ア) 優れた文化芸術活動に触れる環境を創出する事業（鑑賞とワークショップの同時開催）

(イ) 異分野間のコラボレーションによる事業（現代と伝統の融合等）

- (ウ) 新たな人材の発掘や担い手の育成を行う事業（コンテストや文化芸術の体験等）
- (エ) 文化芸術活動の企画運営能力向上に取り組む事業（アートマネジメントの講座開催等）
- (オ) その他、当事業の趣旨に即した事業

応募団体数	助成団体数	助成額
11件	8件	3,125千円

イ 映像配信支援

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、ネット配信により行われる県民の文化芸術活動を支援することにより、活動の発表・発信の機会を創出するとともに、県民に鑑賞の機会を提供する。（補助率：10分の10以内 上限150千円）

応募団体数	助成団体数	助成額
11件	10件	1,440千円

ウ 審査委員会の開催：2回

エ 成果検証の実施：令和3年3月（書面開催）

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

文化芸術活動の充実及び文化芸術に携わる人材の育成が図られた。

(3) 「県民の日7・14」記念式典等実施事業（文化振興課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

「県民の日（7月14日）」が、ふるさとを愛する心を育み、自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島県の未来について考える日になるよう、関連事業を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 「県民の日」記念動画の作成・配信

期 日：令和2年7月14日

内 容：・「県民の日」とは

- ・名誉県民顕彰者の紹介
- ・鹿児島県に対する思い発表
- ・鹿児島ゆかりの著名人からのメッセージ
- ・知事から県民へのメッセージ

配信方法：県内の全小・中・高校等（830校）にDVDを配布するとともに、県ホームページに掲載した。

- ・公立小学校495校
  - ・公立中学校206校
  - ・公立義務教育学校7校
  - ・公立高校68校
  - ・公立特別支援学校16校
  - ・私立小学校3校
  - ・私立中学校10校
  - ・私立高校22校
  - ・鹿児島大学教育学部附属学校3校
- （小・中・特別支援学校）

イ 県有施設の入館・入園料の無料化

（単位：人）

施設名	入場者数
歴史・美術センター黎明館	130
霧島アートの森	13
奄美パーク	82
屋久島環境文化村センター	26
フラワーパークかごしま	63
県立博物館プラネタリウム	16
上野原縄文の森	20
合 計	350

ウ 市町村，民間文化施設の取組

9市町村及び民間の3文化施設において，入館料等の無料化やイベント等が実施された。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県内の小・中・高校等の児童・生徒及び多くの県民への周知が図られた。

(4) 地域伝統芸能全国大会推進事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

令和3年度第29回地域伝統芸能全国大会の鹿児島県開催に向けて，関係機関と事前協議を行うとともに，令和2年度静岡県大会において，鹿児島県大会のPRを行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 関係機関との事前協議（計4回）

開催日：5月28日，9月2日，11月20日，2月3日

関係機関：県，一般財団法人地域伝統芸能活用センター，鹿児島市，霧島市 ※活用センターは11月20日のみ

内容：大会の概要，事業費，大会テーマ，出演団体の調整など

イ 令和2年度静岡県大会における次回開催県PR

開催日（予定）：令和2年11月28日，29日

開催地：静岡市内

内容：静岡県大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため，静岡大会における鹿児島県大会のPRは実施できなかった。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

静岡県大会における次期開催地としてのPRは中止となったが，鹿児島県大会に向けた関係機関との協議を経て，大会運営を行う実行委員会を設立し，大会実施計画と収支予算の承認を得た。

(5) 文化施設活性化事業（文化振興課） 〈一部地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

文化センター，みやまコンセル，霧島アートの森の3施設について，効率的で円滑な管理・運営を図るとともに，文化拠点施設としての機能活性化を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 文化センター活性化事業，みやまコンセル活性化事業，霧島アートの森活性化事業

文化センター，みやまコンセル，霧島アートの森の各施設について，指定管理者である公益財団法人鹿児島県文化振興財団において，施設・設備等の維持管理，文化事業の企画及び実施，施設の利用許可・利用料金の徴収に係る業務を行った。

〔文化センター〕

区 分	内 容	事業数	入場（参加）者数
文化芸術鑑賞事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第41回霧島国際音楽祭藤田真央ピアノ・リサイタル</li> <li>・ 第41回霧島国際音楽祭 鈴木雅明指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン</li> <li>・ 第36回鹿児島新人演奏会</li> </ul> ※一部公演等については，新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	3	1,975人
文化芸術活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第73回鹿児島県高等学校演劇祭県大会</li> <li>・ 鹿児島交響楽団第93回定期演奏会</li> <li>・ 小・中学生のための多様な文化芸術との感動ふれあい事業 など</li> </ul> ※一部公演等については，新型コロナウイルス感染症の影響を	9	3,454人

	受け中止		
文化芸術に関する情報収集・提供事業	・財団情報誌「憩」の作成・配布 ・ボランティアスタッフによる広報活動 など	3	—

〔みやまコンセール〕

区 分	内 容	事業数	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	・第11回みやまスペシャル・コンサート ・野外音楽フェス～みやまの森の響き～ など ※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	4	6,417人
文化芸術鑑賞事業	・第88回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 ・みやまふれあいコンサート ・ゲルハルト・オピッツ ピアノリサイタル など ※一部公演等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止	9	1,853人
霧島国際音楽祭運営事業	・第41回霧島国際音楽祭 令和3年1月5日～12日 みやまコンセールを中心に、国内の著名な音楽家や多数の受講生を招き演奏会と講習会を開催し、本県の音楽文化振興と若手演奏家の育成を図った。	—	10,330人
	・霧島国際音楽祭受講生受入事業 国際交流を目的に外国から受講生を受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止	—	
文化芸術活動支援・助成事業	・おとどけコンサート・さてらいとコンサート ・みやま音楽アカデミーⅠ～Ⅱ など	12	10,846人

〔霧島アートの森〕

区 分	内 容	入場(参加)者数
文化芸術普及事業	・特別企画展 チェ・ジョンファ展 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け2022年秋へ延期 ・霧島アートの日 11月3日 など	—
文化芸術鑑賞事業	・野外常設展(通年) ・屋内コレクション展 パート① 平成2年5月8日～7月5日 パート② 令和2年7月11日～9月27日 パート③ 令和2年11月19日～令和3年2月14日 パート④ 令和3年2月23日～4月11日 ・園内ツアー	44,137人
情報収集提供事業	関係機関と連携した施設のPRや利用促進のための取組	—

〈3〉 施策の実施による成果(アトカ)

各施設の適切な維持管理が行われたほか、各種文化事業を通じて県内外の方々に文化芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

(単位：千円)

予算科目	予算額	財 源 内 訳			決算額	財 源 内 訳		
		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支出金	その他の 特定財源	一 般 財 源
生活福祉総務費	5,127	—	—	5,127	5,127	—	—	5,127
内訳 鶴丸城楼門復元協力 寄附金基金造成事業	5,127	—	—	5,127	5,127	—	—	5,127
文化施設費	9,593	—	9,593	—	9,593	—	9,593	—
内訳 鶴丸城楼門建設事業	9,593	—	9,593	—	9,593	—	9,593	—
黎明館費	199,475	9,352	139,477	50,646	168,829	8,201	118,082	42,546
内訳 黎明館常設展示運営 事業	17,622	—	247	17,375	17,420	—	180	17,240
黎明館企画展示事業	12,721	—	1,538	11,183	12,648	—	4,058	8,590
黎明館資料収集整備 事業	2,110	—	—	2,110	1,435	—	—	1,435
県史料編さん事業	18,973	—	12,000	6,973	18,091	—	12,000	6,091
鶴丸城跡保全整備事業	55,010	7,612	38,000	9,398	46,941	7,512	32,774	6,655
鶴丸城跡保全整備事業 (繰越)	87,692	—	87,692	—	69,070	—	69,070	—
内訳 鶴丸城跡「にぎわい」 創出事業	5,347	1,740	—	3,607	3,224	689	—	2,535
計	214,195	9,352	149,070	55,773	183,549	8,201	127,675	47,673

鶴丸城跡保全整備事業 翌年度への繰越額 7,298千円

(1) 鶴丸城楼門復元協力寄附金基金造成事業（文化振興課 楼門等建設推進室）

<1> 施策の目的

鹿児島経済同友会を中心とする鶴丸城御楼門復元実行委員会が県内外の企業・個人等を対象に、鶴丸城楼門復元協力寄附金の募集を行い、県が設置した「鶴丸城楼門復元協力寄附金基金」により、寄附金の安全な管理かつ確実な運用を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

鶴丸城の楼門を復元するために寄附された鶴丸城楼門復元協力寄附金を適正に管理し、楼門の復元に必要な経費の財源に充てるために設置された「鶴丸城楼門復元協力寄附金基金」を活用し、鶴丸城御楼門建設協議会による建設・活用に向けた取組を支援した。

(単位：円)

年度	積増額	取崩額	残高
H25	350,005,791	0	350,005,791
H26	131,036,000	450,000,000	31,041,791
H27	31,492,000	0	62,533,791
H28	14,197,000	0	76,730,791
H29	334,000	75,000,000	2,064,791
H30	2,401,000	0	4,465,791
R1	83,349,000	83,349,000	4,465,791
R2	5,126,845	9,592,636	0
累計	617,941,636	617,941,636	

※ 取崩額は、鶴丸城御楼門建設協議会へ支出

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

寄附金の安全な管理かつ確実な運用を行えた。

(2) 鶴丸城御楼門建設事業（文化振興課 御楼門等建設推進室）

＜1＞ 施策の目的

県と鶴丸城御楼門復元実行委員会で構成する「鶴丸城御楼門建設協議会」に対し、御楼門建設に係る経費として負担金を支出する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 鶴丸城御楼門建設協議会に対する負担金

（ア）御楼門建設に係る負担金：9,593千円

（イ）御楼門建設に必要な財源に充てるための基金の取り崩し：9,593千円

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

R2.3月に鶴丸城御楼門が完成し、鶴丸城御楼門の完成式（R2.4.11）や記念碑除幕式（R2.9.9）が開催されたほか、サインの設置や復元整備報告書の刊行、記念DVDの作成など鶴丸城御楼門の活用に係る取組に資することができた。

(3) 黎明館常設展示運営事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心を深めるため、鹿児島県の過去から現在までの姿を各種資料等で紹介する常設展示室の運営や企画展示等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 常設展示室開館

年度	開館日数	観覧者数
H30	350日	54,216人
R1	306日	45,568人
R2	286日	24,978人

※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で観覧者数が減

イ 企画展示開催

展 示 名	期 間	観覧者数
にほんの飾り・さつまの飾り -貴人・武士から庶民まで 飾りに込めた想いと憧れ-	令和2年6月16日～8月30日	2,242人
蒔く・獲る・耕す -かごしまの農具-	令和2年9月8日～令和3年1月17日	8,275人
さつまの女性たち -江戸～昭和-	令和3年1月26日～5月16日	※5,362人

※令和2年度中は2,654人

ウ 体験学習講座

4回開催、受講者数99人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(4) 黎明館企画展示事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

黎明館の自主企画による企画特別展等を行うことにより、本県の歴史や文化遺産等に対する県民の理解と関心を育める。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 黎明館講演会 3回開催、入場者数319人

イ ふるさと歴史講座 1回開催、受講者数103人

ウ 古文書講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け開催中止

エ 学芸講座 7回開催，受講者数325人

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(5) 黎明館資料収集整備事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

本県関係の歴史資料を調査・収集の上，整理・保存するとともに専門的・学術的な調査・研究を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

令和2年度収集資料 906点

令和2年度末累計 181,721点

「黎明館調査研究報告第33集」を刊行した。

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

本県関係の歴史資料の収集や保存，専門的・学術的な調査・研究が図られた。

(6) 県史料編さん事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

<1> 施策の目的

本県の史料を編さんし，本県歴史の学術的研究と教育・文化活動の発展に寄与する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

「旧記雑録拾遺地誌備考八」，「名越時敏史料十」を刊行した。

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

本県の基礎史料の整備が図られた。

(7) 鶴丸城跡保全整備事業（文化振興課 楼門等建設推進室（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県指定史跡である鶴丸城跡の石垣について，部分的な孕み出しや隙間が見られることから，石垣修復に向けた取組を行うとともに，鶴丸城跡の文化財的価値や魅力を高めるため，国の史跡指定を目指す。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

鶴丸城跡の石垣の修復に向けて，専門家からの指導・助言を受け，地下水位の追加調査等を継続実施した。

また，専門家からの指導・助言を得ながら国の史跡指定に向けた発掘調査等を実施した。

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

県指定史跡である鶴丸城跡の保全が図られた。

(8) 鶴丸城跡保全整備事業（繰越）（文化振興課 楼門等建設推進室（歴史・美術センター黎明館）） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県指定史跡である鶴丸城跡の石垣について，部分的な孕み出しや隙間が見られることから，石垣修復に向けた取組を行うとともに，鶴丸城跡の文化財的価値や魅力を高めるため，国の史跡指定を目指す。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

平成27年度に崩落した鶴丸城跡の北御門周辺部石垣について，修復工事を行うとともに埋蔵文化財発掘調査を実施した。

<3> 施策の実施による成果(アトカム)

県指定史跡である鶴丸城跡の保全が図られた。

(9) 鶴丸城跡「にぎわい」創出事業（文化振興課 歴史・美術センター黎明館） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

鹿児島島の新しいシンボルとなり、新たな観光拠点として活用されることが期待される鶴丸城御楼門の復元を契機に、御楼門及び県指定史跡「鶴丸城跡」の魅力発信し、にぎわいを創出することにより、歴史・文化ゾーンの回遊性向上や交流人口の拡大等を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

パンフレット、のぼり旗の作成

鶴丸城跡歴史シンポジウム（R2.11.23）の開催

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

御楼門や鶴丸城跡の魅力発信が図られた。

③ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	—	—	—	—	—	—	—	—
内 訳								
文化芸術交流促進事業	—	—	—	—	—	—	—	—
文 化 施 設 費	39,249	—	33,000	6,249	39,249	—	33,000	6,249
内 訳								
文化施設活性化事業 (霧島国際音楽祭運営事業)(一部再掲)	39,249	—	33,000	6,249	39,249	—	33,000	6,249
計	39,249	—	33,000	6,249	39,249	—	33,000	6,249

(1) 文化芸術交流促進事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

文化芸術団体等による国際文化交流を実施することにより、本県文化芸術活動の活性化と国際性豊かな感覚を備えた県民の育成を図り、地域文化の発展に資する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

区 分	団 体 名	人 員	開 催 地	期 間
鹿児島・香港文化芸術交流	中止	—	—	—

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

令和2年度は、香港から本県への受入を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった。  
(令和4年度に延期)

(2) 文化施設活性化事業（霧島国際音楽祭運営事業）（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉 （一部再掲）

2 (1) ①(5)の〈2〉アにおいて前述

④ 文化芸術振興の推進体制の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	5,690	—	—	5,690	4,509	—	—	4,509
内 訳 文化行政推進体制整備 事業	5,690	—	—	5,690	4,509	—	—	4,509

(1) 文化行政推進体制整備事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

芸術文化奨励賞授与や文化芸術振興審議会の開催，文化振興指導員の設置等により本県文化の振興を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 芸術文化奨励賞

- ・授賞式：令和2年11月24日
- ・受賞者：個人の部 美術部門 石原琢二郎氏  
美術部門 井上周一郎氏  
団体の部 郷土芸能部門 中津川民芸保存会

イ 文化芸術振興審議会

(ア) 第1回県文化芸術振興審議会

- ・期 日：令和2年5月26日
- ・会 場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：14人/17人中
- ・議 題：県文化芸術推進基本計画の策定について  
県文化芸術の振興に関するアンケート（案）について

(イ) 第2回県文化芸術振興審議会

- ・期 日：令和2年10月29日
- ・会 場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：14人/17人中
- ・議 題：文化芸術の振興に関するアンケート調査結果について  
県文化芸術推進基本計画（素案）について

(ウ) 第3回県文化芸術振興審議会

- ・期 日：令和3年2月16日
- ・会 場：県庁18階特別会議室
- ・出席委員：13人/17人中
- ・議 題：パブリックコメントの実施結果等について  
県文化芸術推進基本計画（案）について

ウ 文化振興推進員

- ・設置人数：1人
- ・業務内容：県文化協会及び文化団体等への指導・助言等
- ・任 期：令和2年4月1日～令和3年3月31日

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

文化芸術振興審議会の開催や文化振興推進員の設置を通じて，本県文化行政の推進を図ることができた。

(2) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

① スポーツを通じた交流の推進等

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳			
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源	
企 画 総 務 費	204,437	2,518	72,061	129,858	203,702	2,518	72,061	129,123	
内 訳	東京2020オリンピック 聖火リレー実施事業	204,437	2,518	72,061	129,858	203,702	2,518	72,061	129,123
観 光 費	54,546	30,711	—	23,835	53,551	30,401	—	23,150	
内 訳	県民総ぐるみ・鹿児島 ユナイテッドFC支援 事業	40,500	24,000	—	16,500	40,500	24,000	—	16,500
内 訳	「鹿児島レブナイズ」 活動強化支援事業	5,500	4,000	—	1,500	5,500	4,000	—	1,500
内 訳	スポーツツーリズム推 進事業	6,222	2,711	—	3,511	5,387	2,401	—	2,986
内 訳	スポーツツーリズム実 践事業（カントリー・ゴルフ 大会開催事業）	2,324	—	—	2,324	2,164	—	—	2,164
体 育 施 設 費	73,785	—	30,000	43,785	73,785	—	30,000	43,785	
内 訳	県体育施設等管理運営 事業	73,785	—	30,000	43,785	73,785	—	30,000	43,785
計	332,768	33,229	102,061	197,478	331,038	32,919	102,061	196,058	

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー実施事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

東京2020オリンピック聖火リレーの日程が1年延期され、本県において2021年4月27日・28日に実施される聖火リレーについて、延期に伴う情勢変化等に対応し、実施に向けて準備を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 聖火リレートーチの展示

展 示 日：令和2年9月2日

イ 延期後の新たな聖火リレー詳細ルートの公表

公 表 日：令和2年12月15日

公表内容：区間ごとの出発地、到着地

区間ごとの出発予定時刻・到着予定時刻

区間ごとの走行距離

出発式・ミニセレブレーションの実施場所

ウ 県実行委員会選定枠の聖火ランナーの公表

公 表 日：令和3年2月26日

選定人数：53人

うち、公募選定者42人、

県実行委員会推薦PRに資するランナー1人

県実行委員会推薦グループランナー10人

エ 聖火セレモニー観覧者の事前募集

募集期間：令和3年3月29日（月）～4月12日（月）

募集人数：出発式各100人 セレブレーション各400人

オ 延期後の新たな聖火リレー実施に向けた準備

新型コロナウイルス感染拡大防止対策への対応

組織委員会による聖火リレーの簡素化への対応

1年延期に伴う会場の環境変化への対応

1年延期に伴う日程（祝日から平日）変化への対応

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

聖火リレーの実施に向けて県民の機運が醸成された。

(2) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「鹿児島ユナイテッドFC」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 財政支援

(ア) 「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会に対する負担金の拠出

(イ) 鹿児島ユナイテッドFCに対する広告料の支出

(ウ) 鹿児島ユナイテッドFCに対する補助金の支出（新型コロナウイルス感染症対策）

イ 広報支援

(ア) 市町村広報誌や県広報誌を活用したホーム戦日程等の広報

(イ) 県庁舎等でのチラシ・ポスターの配布

(ウ) 県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開幕の延期や試合会場への入場制限等が行われた結果、2020シーズン（R2.6月～R2.12月）の年間総入場者数が37,635人（前年比83,859人減、▲69%）と減少した。

(3) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

「鹿児島レブナイズ」への支援を通じて、本県を広くPRし、交流人口の拡大やスポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 財政支援

(ア) 鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会に対する負担金の拠出

(イ) 鹿児島レブナイズに対する広告料の支出

(ウ) 鹿児島レブナイズに対する補助金の支出（新型コロナウイルス感染症対策）

イ 広報支援

(ア) 市町村広報誌や県広報誌を活用したホーム戦日程等の広報

(イ) 県庁舎等でのチラシ・ポスターの配布

(ウ) 県政広報番組を活用したクラブのPR（1回放送）

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開幕の延期や試合会場への入場制限等が行われたものの、2020-21シーズン（R3.1月～R3.6月）は、チームによる無料招待の実施などにより、年間総入場者数が9,438人（前年比307人増、3%）と増加した。

(4) スポーツツーリズム推進事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

スポーツイベント等の開催支援などを通じて、スポーツツーリズムを推進し、「鹿児島のウェルネス」との相乗効果による交流人口の拡大や地域活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツイベント等を開催する団体に対する助成を行った。

補助団体数	補助額
5件	2,403千円

イ 鹿児島県のスポーツツーリズムをPRするパンフレット及びパネルの作成

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

民間団体等が本県で新たに開催するスポーツイベント等の開催を支援したほか、本県でのスポーツイベントやアクティブスポーツなどを紹介するパンフレットを作成し、市町村や観光団体等へ送付するなどのPR活動を通じて、交流人口の拡大や地域活性化を図った。

(5) スポーツツーリズム実践事業(グラウンド・ゴルフ大会開催事業)(スポーツ振興課)

〈1〉 施策の目的

グラウンド・ゴルフ大会の開催を通じて、スポーツの振興、高齢者の健康増進及び交流人口の拡大・地域活性化を図る。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

大会名：「第1回鹿児島県知事杯グラウンド・ゴルフ大会」

日時：令和2年10月17日(土)

会場：樋脇グラウンド・ゴルフ場(薩摩川内市)

主催：鹿児島県

主管：鹿児島県グラウンド・ゴルフ協会

参加者：128チーム・640人

大会に関連した取組

ア 交流人口の拡大・地域活性化

- ・大会参加者への参加賞として地元産味噌を活用
- ・6団体がブースを設置し、販売等を実施
- ・地元観光情報などを盛り込んだ大会パンフレットを作成・配布
- ・地元の文化芸能である薩摩川内おどり太鼓を披露

イ 高齢者の健康増進

- ・地元コミュニティクラブによる高齢者向け健康体操の実施
- ・パンフレット配布などによる健康増進の普及活動

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

同大会を開催し、スポーツの振興や高齢者の健康増進及び交流人口の拡大に寄与した。また、大会に関連し、地元特産品の出展ブース設置や文化芸能の披露などの取組を行い、地域活性化につなげた。

(6) 県体育施設等管理運営事業(スポーツ振興課)

〈1〉 施策の目的

県民一人ひとりが身近なところでスポーツに親しみ、気軽に参加できるよう、スポーツを楽しむ環境を整備するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の定着、競技力向上を図るため、施設の管理運営を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 事業内容

県立サッカー・ラグビー場の管理運営

イ 事業主体

県立サッカー・ラグビー場指定管理者

(ア) 名称 株式会社セイカスポーツセンター

(イ) 期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

〈3〉 施策の成果(アウトカム)

ア 主な成果

- ・天然芝2面、人工芝1面を有し、県内トップレベルのサッカー・ラグビー場として県内外から大会や合宿に利用されている。

また、質の高い芝やクラブハウスがグラウンドに隣接していることから、プロサッカーチーム鹿児島ユナイテッ

ドFCが定期的に練習場として利用している。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会等が中止となったことから、利用人数については、前年度比25.5%減（32,093人減）であった。

イ 令和2年度利用者数

・利用者数 93,792人（前年度比74.5% 32,093人減）

## 9 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現

### (1) 国内外における戦略的なPRの展開

#### ① ICT等を活用したPRの展開

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
中小企業振興費	21,257	10,184	—	11,073	20,562	10,170	—	10,392
内 戦略的プロモーション展開事業	6,007	2,759	—	3,248	5,622	2,745	—	2,877
内 訳 「どんどん鹿児島」魅力発信ムービー制作事業	15,250	7,425	—	7,825	14,940	7,425	—	7,515
計	21,257	10,184	—	11,073	20,562	10,170	—	10,392

#### (1) 戦略的プロモーション展開事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

##### <1> 施策の目的

「新鹿児島PR戦略」に基づき、効果的な情報発信を積極的に実施することにより、本県の認知度向上及びイメージアップを図る。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

#### ア オンラインイベント開催による情報発信

##### (ア) オンラインイベントの開催

新型コロナウイルス感染症拡大による状況を鑑み、美しい景観や豊富な温泉、安心・安全な「食」など、心も身体も元気になる鹿児島の素材を活用したオンラインイベントを開催

- ・開催日：令和3年2月6日（土） 14：00～17：40
- ・内容：ナビゲーターを県出身のお笑いコンビ「天竺鼠」が務め、鹿児島が潮流となって国内や世界に繋がっている事柄、人物等を切り口に、鹿児島の魅力を「歴史」、「食」、「癒やし」、「未来」のテーマ毎に発信
- ・参加方法：ビデオ会議ツールZoomから参加（各テーマ先着50名まで）
- ・視聴方法：県公式YouTubeチャンネル「どんどん鹿児島」でライブ配信

##### (イ) メディア等での情報発信

オンラインイベントと連動したマスメディア（テレビ、新聞等）、SNS等での情報発信

#### イ 「桜島だいこんフェア」オープニングイベントの実施

鹿児島の特産品である「桜島大根」を活用し、県内等のホテル・飲食店において期間限定メニューとして提供する「桜島だいこんフェア」に先立ち、その魅力を広く発信するオープニングイベントを開催した。

- ・開催日：令和3年1月30日（土）～31日（日）
- ・開催場所：天文館ベルク広場
- ・実施内容：写真・パネル展示、トークイベント、桜島大根の1本売り、桜島大根重量当てクイズ、物販ブースでの桜島大根加工品等の販売

##### <3> 施策の実施による成果（アウトカム）

#### ア オンラインイベントの開催

- ・参加者数：196名
- ・YouTube視聴者数：791名（ライブ配信時）

#### イ 「桜島だいこんフェア」オープニングイベントの実施

- ・参加人数：843名

(2) 「どんどん鹿児島」魅力発信ムービー制作事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

本県の豊かな自然や食，歴史・文化等の多彩な魅力を紹介する動画を新たに制作し，WEB上で公開することにより，本県の認知度向上及びイメージアップを図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

新PR動画「Breathtaking Kagoshima～心奪われる鹿児島～」の制作・公開

ア 動画の種類

- ・メイン動画：3分，1分，30秒の3本
- ・テーマ別動画：「食」，「温泉」，「歴史」，「屋久島」，「奄美大島・徳之島」の5本

イ 公開

- ・公開日：令和3年4月30日
- ・媒体：特設サイト及びYouTube「どんどん鹿児島」チャンネルで公開

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

主な活用状況（令和3年7月末現在）

- ・イベント等 33件
- ・メディア等 9件

②オール鹿児島によるPRの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
中 小 企 業 振 興 費	52,142	621	—	51,521	37,704	621	—	37,083
内								
特産品総合振興対策事業	24,744	—	—	24,744	24,744	—	—	24,744
薩摩大使委嘱活用事業	2,108	—	—	2,108	945	—	—	945
かごしま食の大交流会開催事業	500	—	—	500	310	—	—	310
鹿児島県産品等セールス推進事業	22,816	594	—	22,222	9,984	594	—	9,390
かごしま遊楽館関連事業	1,920	—	—	1,920	1,668	—	—	1,668
課								
薩長土肥連携事業	54	27	—	27	53	27	—	26
計	52,142	621	—	51,521	37,704	621	—	37,083

(1) 特産品総合振興対策事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

大消費地での特産品の販路拡大と物産観光展の開催やブランドショップの運営など、特産品の総合的な振興を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

・ 物産観光展開催事業

東武百貨店池袋店など、県主催の物産観光展を首都圏を中心に5回開催した。

百貨店名	場 所	日 程
東武百貨店船橋店	千葉県船橋市	令和2年11月26日～12月2日
井筒屋小倉店	福岡県北九州市	令和3年1月6日～1月19日
水戸京成百貨店	茨城県水戸市	令和3年1月21日～1月27日
東武百貨店池袋店	東京都豊島区	令和3年2月25日～3月2日
日本橋三越本店	東京都中央区	令和3年3月9日～3月14日

・ 販路拡大推進事業

小売店等への定番化や消費者ニーズに適応したモノづくりを推進するため、県内企業や関係団体と連携のもと、商談会や物産展等を展開し、商品に対する評価や販売方法等の情報収集及び提供に努めた。

・ ブランドショップ展示管理

工芸品企業や作家等と連携して、首都圏の消費者等に対し特産品を展示・紹介し、販路拡大に努めた。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県産品の販路拡大や観光客の誘客が図られた。

(2) 薩摩大使委嘱活用事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

本県の観光や特産品の県外への紹介、宣伝等本県のイメージアップに貢献できる方を薩摩大使として委嘱するとともに、それぞれの立場からの県政に対する提言や意見をいただき、県勢の発展を図る。

また、薩摩大使に県勢全般について理解を深めてもらうことを目的に、情報誌等を送付する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

・ 薩摩大使の証、名刺、楯の作成配布

・ 情報誌等の送付（2ヶ月に1回）

・ 年度別委嘱者数

年 度	H30年度	R1年度	R2年度
新規委嘱者数	9人	3人	2人
活動者数	206人	207人	194人

※ 令和2年度に、8人の任期が終了した。

・ 各部局等の施策での大使の活用

高嶋 政宏氏（TV番組「kinkikidsのブンブブーン」で焼酎等の県産品や鹿児島県の絶景スポット等のPR：令和2年8月29日）

宮下 純一氏，中 孝介氏，榎木 孝明氏，北園 涼氏，迫田 孝也氏，西田 あい氏，辛島 美登里氏，元ちとせ氏，吉俣 良氏，若田 公一氏（県民向け応援メッセージ発信：令和2年6月～7月）

袁 静氏（「九州オンライン旅行博」をWeibo内で開催（本県ページ閲覧数159,749回）：令和2年12月）

小野寺 浩氏（屋久島環境文化村構想の推進に関する助言）

吉岡 浩人氏（令和2年度鹿児島県肉牛枝肉共進会（京都会場）へ買参人として参加：令和2年10月，令和3年2月）

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

薩摩大使の活用等により，本県のイメージアップや本県へのさらなる理解醸成が図られた。

(3) かがしま食の大交流会開催事業（かがしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

首都圏において，本県にゆかりのある方々等を招いて，本県が誇る農林水産物や特産品及び観光情報などを紹介宣伝することにより，参加者の鹿児島県に対する理解を深め，鹿児島県が生み出す一流品に関する情報を国内外に効果的に発信する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，かがしま食の大交流会を中止した。

〔開催実績〕

実 施 日	会 場	参 加 者
平成31年1月31日	セルリアンタワー東急ホテル（東京都）	関東地区在住薩摩大使及び一般招待者（921人）
令和2年1月31日	セルリアンタワー東急ホテル（東京都）	関東地区在住薩摩大使及び一般招待者（931人）
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止	—

(4) 鹿児島県産品等セールス推進事業（かがしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

ア トップセールス推進事業

国内外を問わず，知事が先頭に立って農林水産物の販売促進，観光宣伝等，鹿児島の売り込みを積極的に行い，本県が誇る農林水産業から先端産業まで，これらの産業のさらなる振興を図り，「新しい力強い鹿児島」を創る。

イ 「鹿児島の食」ブランド力UP事業

地域の優れた食材を扱う高級レストランのトップシェフや高級スーパーのバイヤー等に「鹿児島の食」を売り込み，フェア等を通じた活用を推進するなど「鹿児島の食」のブランド力UPを図る。

ウ 県産品宣伝販売促進事業

「かがしま県産品宣伝販売促進活動方針」に基づき，県外の百貨店や量販店，ホテルレストラン等において，各種フェア等を開催し，県産品の販路拡大等を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア トップセールス推進事業

東南アジア等で量販店を展開する（株）PPIHと県産農林水産物の販売促進に関する連携協定を締結したほか、フランスKura Master協会に対して、動画で県産本格焼酎をPRするなどコロナ禍に対応したトップセールスも実施した。

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
海外	32回	5回	17回	1回
県外	18回	14回	8回	2回
県内	20回	38回	38回	3回
合計	70回	57回	63回	6回

イ 「鹿児島食」ブランド力UP事業

(ア) 主な取組実績

- a トップシェフによる産地視察（10月）
- b 首都圏6店舗でのレストランフェアの開催（11月～12月）
- c 松屋銀座での「鹿児島フェア」の開催（2月）

(イ) 「鹿児島食の匠」の委嘱状況

平成26年から3年任期で委嘱しており、令和2年9月に5人を再委嘱

- ・中村 勝宏 氏（フレンチ） ・木浦 信敏 氏（和食） ・濱崎 龍一 氏（イタリアン）
- ・上柿元 勝 氏（フレンチ） ・坂井 宏行 氏（フレンチ）

ウ 県産品宣伝販売促進事業

国内外の量販店やレストラン等において鹿児島フェア等を開催した。

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
量販店	15回	13回	12回	10回
レストラン	25回	29回	19回	7回
その他	40回	38回	43回	16回
合計	80回	80回	74回	33回

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

ア トップセールス推進事業

「知事トップセールス」を6回実施し、県産品の販売促進や誘客が図られた。

【参考】

項目	実績	備考
令和2年度農林水産物の輸出額	214億円	H30は227億円で過去最高
令和元年農業産出額	4,890億円	全国2位
令和2年延べ宿泊者数	513万人	H30は886万人で過去最高
令和2年外国人延べ宿泊者数	12万人	R1は84万人で過去最高
令和元年観光入込客の観光消費額	2,856億円	H30は3,016億円で過去最高
令和2年志布志港国際ターミナル取扱量	103,731TEU※	R1は108,209TEUで過去最高

※1 TEU=20ftコンテナ1個分

イ 「鹿児島食」ブランド力UP事業

トップシェフが経営するレストランや松屋銀座での「鹿児島フェア」において、鹿児島黒牛、かごしま黒豚、さつまいも、桜島大根など10品目以上の県産品が活用され、ブランド力の向上が図られた。

ウ 県産品宣伝販売促進事業

国内外の量販店やレストラン等において鹿児島フェア等を開催し、県産品の販路拡大や観光客の誘客が図られた。

(5) かがしま遊楽館関連事業（かがしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

首都圏における物産や観光についての広報や宣伝、販売、展示等を行う総合的な情報の受発信拠点である「かがしま遊楽館」において、県産品のブランド確立と観光かがしまの魅力あるイメージづくりを推進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

年間を通じた広告やイベントの開催等により、本県の農産物、加工食品、工芸品等や遊楽館のPRを行った。

・ イベントの開催

年度	イベント	実施日	実施内容
H30	23周年誕生祭	平成30年6月2日～3日	旬な農産物フェアや特産品販売など
	かがしまフェアin遊楽館	平成30年9月16日、10月4日～6日、9日	明治維新150周年を記念した公開講座や野外散策講座、パネル展の開催
		平成31年2月16日	日比谷ゴジラスクエアでのかがしまおはら祭りin かがしま遊楽館の実施
R1	24周年誕生祭	令和元年6月1日～2日	旬な農産物フェアや特産品販売など
R2	25周年誕生祭	(PART 1) 令和2年11月3日～8日 (PART 2) 令和2年11月26日～30日 (PART 3) 令和3年2月（中止）	かがしま遊楽館開館25周年を記念し、開館日前後でのイベントを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、開催時期を変更し、開催期間を3回（PART 1～3）に分け、旬な農産物フェアや特産品販売に加え、スタンプラリー、抽選会、写真展などを開催 なお、PART 3は緊急事態宣言中により中止

・ 新聞、雑誌や交通広告媒体等を活用した遊楽館の広報PR

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県産品の認知度向上や観光かがしまの魅力あるイメージづくりが図られた。

(6) 薩長土肥連携事業（かがしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

明治維新150周年を記念して、平成30年度に鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の4県が締結した「薩長土肥同盟」に基づき、これまでの関係性を更に継続・発展させるため、明治維新200年に向け、4県において、各県の歴史・文化など魅力ある地域資源を活かし、地域の活性化を推進する取組を連携して展開する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

令和2年度薩長土肥連携青少年交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止

ア 薩長土肥同盟推進協議会会議（書面開催）全2回

・ 実施日：令和3年2月17日、令和3年3月26日

・ 参加者：協議会委員（4県担当課長）

・ 内容：次年度事業予算の検討 ほか

イ 担当者オンライン意見交換会（オンライン開催）全2回

・ 実施日：令和3年3月18日、令和3年3月26日

・ 参加者：協議会委員（4県担当者）ほか

・ 内容：次年度事業計画の検討、開催可否の判断時期検討 ほか

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

薩長土肥連携青少年交流事業の次年度開催に向けた、薩長土肥同盟推進協議会会議や担当者オンライン意見交換会などを実施し、4県の連携を図ることができた。

## (2) 観光維新 鹿児島県の創造

### ① 魅力ある癒やしの観光地の形成

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,697,700	192,077	1,483,735	21,888	1,039,155	87,257	948,535	3,363
内 訳								
魅力ある観光地づくり事業	1,407,735	47,095	1,340,735	19,905	916,640	26,000	887,735	2,905
奄美パーク改修等事業	289,965	144,982	143,000	1,983	122,515	61,257	60,800	458
計	1,697,700	192,077	1,483,735	21,888	1,039,155	87,257	948,535	3,363

魅力ある観光地づくり事業 翌年度への繰越額 491,095千円

奄美パーク改修等事業 翌年度への繰越額 167,049千円

#### (1) 魅力ある観光地づくり事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

##### <1> 施策の目的

本県を訪れる観光客の受入体制の充実を図るため、地域素材を生かしたにぎわい空間や体験空間の創出、沿道修景などの景観整備やわかりやすい案内標識の整備を行い「魅力ある観光地づくり」を推進する。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

##### ア にぎわい回廊整備

地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かしたにぎわいや憩いの空間の創出・沿道修景等の整備を行った。

##### (にぎわい回廊整備状況)

地 域 名	整 備 箇 所
鹿 児 島	鶴丸城跡修景整備（鹿児島市）
	市来観音ヶ池周辺景観整備（いちき串木野市）
南 薩	内山田七不思議巡り整備（南さつま市）
	池田湖周辺景観整備（指宿市）
北 薩	出水戦跡巡り周辺整備（出水市）
	長島サンセットロード景観整備（長島町）
	阿久根北部観光拠点整備（阿久根市）
	甕島観光交流拠点整備（薩摩川内市）
	鶴北帰行展望園地整備（長島町）
始良・伊佐	日当山温泉郷まち歩き拠点整備（霧島市）
	重富まち歩き拠点整備（始良市）
	八幡大地獄散策路整備（湧水町）
大 隅	鹿屋しおかぜ街道景観整備（鹿屋市）
	神川七福神めぐり整備（錦江町）
	雄川の滝周辺景観整備（南大隅町）
	大隅歴史散策拠点整備（大崎町，東串良町，肝付町）
熊 毛	種子島北部観光拠点整備（西之表市）
	屋久島沿道景観整備（屋久島町）
大 島	大和村観光拠点整備（大和村）
	敬天愛人発祥の地周辺整備（和泊町）
	与論島散策拠点整備（与論町）
	喜界島観光拠点整備（喜界町）
	奄美トレイル観光環境整備（宇検村・喜界町・伊仙町）

イ 観光案内標識（サイン）整備

全ての観光客がストレス無く快適に観光を満喫できるよう、外国語併記の観光案内標識等の整備を行った。

（案内標識設置状況）

（単位：基）

種 別	～H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
観光案内板	36	—	—	—	—	—	—	—	—	36
観光案内標識 （かごしまroman街道）	821	—	52	34	39	9	—	4	5	964
道路案内標識	996	—	3	7	6	2	10	9	5	1,038
合計	1,853	—	55	41	45	11	10	13	10	2,038

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

ア にぎわい回廊整備

県内各地において、広域観光ルートの拠点となる「魅力ある癒やしの観光地」の形成が図られ、本県を訪れる観光客の満足度と回遊性が高まった。

イ 観光案内標識（サイン）整備

外国語併記の観光案内標識等の整備、充実により、観光客の県内観光地への適確な誘導・案内が図られた。

(2) 奄美パーク改修等事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を見据え、施設の長寿命化を図るとともに、世界遺産の情報発信拠点としてふさわしい外観となるよう、必要な改修を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、奄美の郷の外構（屋根）及び設備改修を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

奄美群島の自然や生活文化を学ぶ場として、より一層の受入体制の強化及び機能充実が図られた。

② 戦略的な誘客の展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	18,072	10,085	—	7,987	11,510	4,173	—	7,337
内 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業	18,072	10,085	—	7,987	11,510	4,173	—	7,337
観 光 費	439,127	129,917	6,080	303,130	428,662	127,204	6,072	295,386
内 観光かごしま大キャンペーン推進事業	75,000	37,500	—	37,500	72,473	36,236	—	36,237
内 国内誘客プロモーション事業	49,827	—	—	49,827	49,130	—	—	49,130
内 2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業	8,000	1,925	—	6,075	7,642	1,925	—	5,717
内 南九州観光振興事業	2,000	—	—	2,000	2,000	—	—	2,000
内 フィルムコミッション活動支援事業	8,739	—	—	8,739	8,739	—	—	8,739
内 観光サイトリニューアルによる誘客促進事業	5,987	2,337	—	3,650	5,987	2,337	—	3,650
内 海外誘客ステップアップ事業	100,332	45,669	—	54,663	99,302	45,669	—	53,633
内 国際クルーズ船誘致促進事業	13,239	6,189	—	7,050	11,533	5,639	—	5,894
内 外国人観光客受入体制整備事業	17,564	7,072	—	10,492	17,561	7,072	—	10,489
内 鹿児島県の国立公園周遊促進事業	6,080	—	6,080	—	6,072	—	6,072	—
内 スポーツ観光王国かごしま確立事業	6,169	355	—	5,814	4,991	291	—	4,700
内 東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致事業	2,086	870	—	1,216	107	35	—	72
内 ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	98,104	—	—	98,104	97,125	—	—	97,125
内 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業(再掲)	40,500	24,000	—	16,500	40,500	24,000	—	16,500
内 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業(再掲)	5,500	4,000	—	1,500	5,500	4,000	—	1,500
計	457,199	140,002	6,080	311,117	440,172	131,377	6,072	302,723

【参考】①目標値

区 分	基 準 年 (H30年)	目 標 (R6年)	現 状 (R2年)
項 目			
(1) 宿泊者数を増やす <sup>(注1)</sup>			
① 延べ宿泊者数	約8,864千人泊	9,900千人泊	5,127千人泊
② ①のうち、 外国人延べ宿泊者数	約831千人泊	1,500千人泊	121千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす			
	(H30年度)	(R6年度)	(R2年度)
観光客の満足度	約76%	100%	約89%

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
延べ宿泊者数	7,202,190	7,986,670	8,864,320	8,366,340	5,126,520

※出典：観光庁「宿泊旅行統計」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1)観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1)「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(世界文化遺産課) (地方創生関連事業)

<1> 施策の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の管理保全、メディア向けプロモーション、シンポジウムの開催など県内構成資産を次の世代へ引き継ぐという県民意識を醸成するための普及啓発、情報発信に取り組む。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 管理保全

「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録5周年記念シンポジウムの開催

日程	場所	内容	参加者
令和2年11月21日	かごしま県民交流センター	「世界文化遺産『明治日本の産業革命遺産』登録から5年間の振り返りとこれから」 ①主催者挨拶 ②基調講演 ③パネルディスカッション	154人

(イ) 普及啓発、理解増進・情報発信

a 教育連携

(a) 副読本「かごしまタイムトラベル」の改訂増刷・配布

集成館事業を中心に日本の近代化に鹿児島が果たした役割及びその関連資産等をわかりやすく説明した副読本「かごしまタイムトラベル」を改訂増刷・配布し、学校等における活用の促進を図った。

増刷部数	配布先	活用等	規格等
19,500部	県内の小学5年生全員、 県・市町村教育委員会	・学校現場での活用 ・各種講義等での活用	A4・24頁

b 県内波及への取組等

「明治日本の産業革命遺産」及び県内構成資産への興味・関心を喚起させるとともに、世界文化遺産としての価値について理解を深めてもらい、次世代へ継承していくという県民意識の醸成を図るため、県内全域を対象とした普及啓発に取り組んだ。

事業名	事業内容	場所等	参加者
かごしま産業遺産の道事業	県内の集成館事業に関連する産業遺産を紹介する「かごしま産業遺産の道」ホームページの県観光サイトにおける運用	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」に公開	—
近代化産業遺産普及・啓発事業	1 児童向けの出前講座 (1) 日程 令和2年12月17日 (2) 内容 「かごしまタイムトラベル」等を活用した「明治日本の産業革命遺産」の概要説明	南九州市立知覧小学校 始良市立帖佐小学校	46人 63人
	2 世界文化遺産登録5周年記念イベント (1) 「関吉の疎水溝」の魅力をSNSで発信する会 ① 日程 令和2年9月27日	関吉の疎水溝	13人

<p>② 内 容 関吉の疎水溝の歴史や価値，SNS発信における文章の書き方や写真撮影の方法についての説明を受けた後，参加者がそれぞれインスタグラムやフェイスブック等のSNSで発信</p>		
<p>(2) 小学生及び一般向け現地学習会（バスツアー）</p> <p>① 日 程 令和2年10月4日，7日，11日</p> <p>② 内 容 「明治日本の産業革命遺産」の本県構成資産と鶴丸城御楼門を巡る</p>	仙巖園等	42人
<p>(3) 世界遺産こども大学（小学生（3年生以上））</p> <p>① 日 程 令和2年10月4日，11日</p> <p>② 内 容 副読本「かごしまタイムトラベル」を活用</p>	仙巖園	17人
<p>(4) 世界文化遺産講座</p> <p>① 日 程 令和2年10月3日，10日</p> <p>② 内 容 「薩摩の近代化が現代に何をもたらしたのか？」 「海外研究者が評価した集成館事業」 「薩摩藩の白炭」 「水車動力と産業遺産～知覧を中心として～」</p>	仙巖園	73人
<p>(5) 集成館事業バーチャルリアリティツアー</p> <p>① 日 程 令和2年10月3日，11日</p> <p>② 内 容 集成館操業当時の様子を360°フルパノラマCGで再現したVRアプリを使用して150年前にタイムスリップ</p>	仙巖園，旧鹿児島紡績所技師館等	9人
<p>(6) 「明治日本の産業革命遺産」クイズラリー</p> <p>① 期 間 令和2年10月3日～11月3日</p> <p>② 内 容 県内構成資産を回りながら関連するクイズに解答して「明治日本の産業革命遺産」について学習（解答者には抽選で景品を用意）</p>	仙巖園，尚古集成館，旧鹿児島紡績所技師館，関吉の疎水溝，黎明館	115人
<p>(7) 世界文化遺産登録5周年記念パネル展</p> <p>① 期 間 令和2年7月1日～31日</p> <p>② 期 間 令和2年8月1日～30日</p> <p>③ 期 間 令和2年9月9日～30日</p> <p>④ 期 間 令和3年1月12日～22日</p> <p>⑤ 期 間 令和3年1月25日～2月5日</p>	県庁行政庁舎1階 黎明館 県民交流センター 鹿児島空港 イオンモール鹿児島	

c 観光連携

(a) 広告掲載

媒体	配布先	掲載号	内容
リビングかごしま リビングきりしま	鹿児島市, 始良, 北薩, 国分, 隼人, 加治木 エリアの世帯	令和2年7月11日 7月18日	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録5周年について
		令和2年8月22日 8月22日	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録5周年記念イベントの告知
		令和2年10月17日 10月24日	「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録5周年記念シンポジウムの告知

d 県内構成資産紹介パンフレットの増刷・配布

「明治日本の産業革命遺産」の県内の構成資産について、県内外での認知度向上及び理解増進を図るため、パンフレットを増刷し、各種イベントや観光施設等で配布した。

名称	増刷部数	配布先	規格等
明治日本の産業革命遺産 「産業国家」日本の原点 鹿児島	8,000部	本県イベント, 協議会イベント, 鹿児島空港ほか観光施設等	A4・16頁

e 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」資格認定・登録

県内構成資産を英語でわかりやすく説明するため創設した「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」制度の運用を令和元年度から開始したことに伴い、令和元年度の鹿児島大学大学院における講義を受講し、単位取得した者に対し、資格認定・登録を行った。(令和2年度の育成研修は、新型コロナウイルス感染症の県内発生状況等を鑑み中止)

育成研修名：鹿児島大学大学院（人文社会科学研究科博士前期課程）総合講義「鹿児島県における世界文化遺産」

研修実施日：令和元年12月7日, 14日, 15日

研修修了者：11人

認定・登録者：10人（3月31日現在）

イ その他の取組

(ア) 関係部局等との連携

県総合教育センターなどが実施する学生、教職員向けの各種講座・体験学習等への講師派遣、民間企業に対する映像の提供やPRグッズの貸出等

(イ) 文化庁補助事業

事業名：世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業

補助事業者名：世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」集成館事業活用事業実行委員会

事業内容：令和元年度に作成した、「明治日本の産業革命遺産」全体及び県内構成資産の価値を、アプリを活用しながら分かりやすく解説するためのガイド用テキストやルートマップ、アプリの操作方法等を説明する動画コンテンツの英語版を作成

ウ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組

(ア) 世界遺産委員会決議（勧告事項）への対応

平成30年6月に開催された第42回世界遺産委員会において当遺産の保全状況等について審議が行われ、これまでの取組に一定の評価がなされるとともに、国に対し、令和元年12月1日までに資産の保全状況と新たに出された勧告の履行状況について更新した報告を求める勧告が出された。

[取組内容]

・国がユネスコ世界遺産センターに提出した保全状況報告書に係る調整

(イ) ユネスコ世界遺産センターへの定期報告

世界遺産は世界遺産条約に基づきおおむね6年に1度、遺産価値の維持状況の評価等についてユネスコへの定

期報告が義務付けられている。

[取組内容]

・定期報告の回答案について、各エリアからの回答を踏まえ内閣官房及び協議会事務局で集約を行った。

(ウ) インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進

項目	取組内容
8県11市23資産の遺産群の理解増進及び情報発信への取組	①世界文化遺産登録5周年記念事業の実施（グッズ等作成，SNS情報発信） ②国内に向けた広報活動（雑誌記事掲載） ③共通展示システムの開発 ④ホームページ更新

(エ) 人材育成

項目	取組内容
遺産群全体のストーリーを説明できる人材の育成のための取組	ガイド研修会の開催（新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催） 日 程：令和3年3月8日 対象者：各地域のガイド，自治体職員等 内 容：世界遺産「明治日本の産業革命遺産」，世界遺産ガイド，世界遺産価値の説明例など
世界遺産としての管理保全に関わる関係者の能力向上のための取組	管理保全研修会の開催 日 程：①令和2年7月10日（新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催），②令和2年12月23日 場 所：②福岡県 対象者：自治体職員（②34人） 内 容：管理保全の概要，世界遺産の災害復旧，三池炭鉱・三池港と橋野鉄鉱山の災害に関する事例紹介，災害復旧に関する172項報告など

エ 主な取組経緯

- (ア) 平成17年7月 鹿児島県主催で「九州近代化産業遺産シンポジウム」を開催し、「かごしま宣言」を取りまとめ
- (イ) 平成18年6月 九州地方知事会における政策連合項目として、「九州近代化産業遺産の保存・活用」が決定し、関係県での取組へ発展
- (ロ) 平成20年9月 文化庁において世界遺産暫定一覧表への追加記載決定  
10月 関係自治体による世界遺産登録推進協議会を設置
- (ハ) 平成21年1月 ユネスコの世界遺産暫定一覧表へ追加記載
- (ニ) 平成24年5月 「稼働中の産業遺産又はこれを含む産業遺産群を世界遺産登録に向けて推薦する場合の取扱い等について」閣議決定
- (ホ) 平成25年4月 国へ推薦書原案等を提出  
9月 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を平成25年度のユネスコへの世界文化遺産政府推薦案件として決定  
ユネスコへ推薦書（暫定版）を提出
- (ヘ) 平成26年1月 ユネスコへ推薦書（正式版）を提出  
7月 産業遺産国際会議を開催  
9月 ユネスコの諮問機関であるイコモスによる現地調査
- (コ) 平成27年5月 イコモスによる「記載」勧告  
7月 第39回世界遺産委員会で登録決定  
世界遺産一覧表への記載

- (ケ) 平成28年3月 世界遺産登録認定証伝達式
- (コ) 平成28年4月 協議会を「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会へ名称変更
- (サ) 平成29年11月 ユネスコへ保全状況報告書を提出
- (シ) 平成30年6月 第42回世界遺産委員会で保全状況についての審議及び保全状況について報告するようユネスコから勧告
- (ス) 令和元年11月 ユネスコへ保全状況報告書を提出
- (セ) 令和2年3月 「明治日本の産業革命遺産」等の情報発信を行う「産業遺産情報センター」(場所：東京都新宿区)を国が開設
- (ソ) 令和2年11月 ユネスコへ保全状況報告書を提出

〈3〉 施策の実施による成果(アトカム)

シンポジウムの開催や小学生向け副読本の配布等により、県内構成資産を次の世代に引き継ぐという県民意識の醸成が図られた。

また、登録5周年記念イベントの実施により、子供達の郷土に対する誇りと愛情の育成や県民の世界遺産価値に関する理解増進が図られた。

更に、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組については、ユネスコ世界遺産委員会決議(勧告事項)への対応やガイド等へのテキストの提供等により構成資産の管理保全が図られるとともに、登録5周年事業の実施や共通展示システムの開発などにより本遺産に対する理解の増進が図られた。

(2) 観光かごしま大キャンペーン推進事業(観光課) (地方創生関連事業)

〈1〉 施策の目的

本県を訪れる観光客の一層の増加を図るため、メディア、キャリア、エージェント等を活用した効果的な誘客キャンペーン等を実施する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

【誘客対策】

官民一体となり、鹿児島県の観光を再活性化し、一層の誘致促進を図るため、新型コロナウイルス感染症による消費者の意識・行動などの変化を踏まえ“ウェルネスかごしま”をキーワードとした戦略的な事業を展開する、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

ア 旅行需要を喚起する観光素材の創出

(ア) 広域観光周遊ルートの整備

a 北薩地域・始良・伊佐・地域広域連携事業

オンラインイベントに伊佐市・霧島市と共同出展し、地域の食の魅力を中心に観光情報を発信した。

b 中・南薩地域広域連携事業

指宿・屋久島広域観光推進協議会と連携して、地域参加型ワークショップを実施し、指宿・屋久島地域の特色を洗い出し、地域の定義(コンセプト)を明確化することで、ワーケーションの受入体制を整備し機運醸成を図った。

(イ) 本県観光素材を活用した誘客促進

a 県内の体験プランをWEB上で予約・販売できるシステムを導入し、観光客の利便性の向上と滞在時間・観光消費額の増加を図った。

b 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業等の従業員の職業能力の開発及び向上の促進を図るため、「鹿児島観光人材オンラインスキルアップ支援助成金」を助成した(実績3件)

c 「ウェルネスかごしま健康増進魅力発掘プロジェクト」として、県内外から本県の魅力を公募し、鹿児島大学と協議の上、選定した9件の旅プランについて県民による投票を実施した。また、旅プラン部門グランプリについて、県内メディア・旅行会社の視察ツアーを実施した。

(応募件数:かごしま旅プラン部門147件, 料理レシピ部門46件, ウェルネス素材部門76件)

(ウ) 桜島七十七景ルート整備

桜島七十七景フォトコンテストを実施した。(応募件数189件)

(エ) 霧島ロングトレイルコースづくり

ロングトレイルの先進地である「みちのく潮風トレイル」「山陰海外ジオパーク」を視察した。また、国の補助事業を活用し、情報発信用コンテンツの制作や、ロングトレイルイベントを実施した。

イ 戦略的な情報発信

(ア) 県観光ホームページ「かごしまの旅」を活用した情報発信の強化

季節ごとの観光情報を発信する特集ページのデザイン改訂・更新、モデルコースの更新作業などを行い、閲覧者の利便性向上と効果的でタイムリーな情報発信を行った。

(イ) 地域の特性を活かす広報媒体の選択と効果的PR

a 観光展等出展事業

各地で行われる観光展に出展し、鹿児島県の情報発信を図った。(2回)

b ツーリズムEXPOジャパン出展事業

ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in沖縄に出展し、鹿児島県の情報発信を図った。(商談16社)

ウ 効果的なプロモーション展開

(ア) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進

a 旅行商品造成支援

①旅行エージェントの本県離島への旅行商品及び拠点観光地以外の素材を使用した旅行商品造成における支援

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
助成件数	32件	35件	70件	47件	22件
送客実績	4,263人	8,024人	27,176人	17,922人	4,958人

②オフ期における貸切バス誘致支援

オフ期(6月～8月)(12月～2月)における貸切バス誘致支援

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
実績台数	68台	77台	85台	74台	4台

b 旅行エージェントが実施する社員や代理店を対象とした現地視察研修等に対して支援を行った。

実績：6件 180,000円

c 旅行エージェントやキャリアが独自に行う大型キャンペーン等で本県への集中送客が見込めるものとタイアップを行った。(14件)

(イ) 観光関係団体等と連携した誘客促進

a 教育旅行受入対策協議会事業と連携したプロモーション

ガイドブックを作成し、学校関係者や旅行会社に配布(3,000部)

b 九州観光推進機構と連携した誘客促進

オンラインによる商談会の実施(40社)

c 各県観光連絡協議会等観光関係団体と連携した誘客促進

- ・県外各観光連絡協議会主催による旅行エージェント招聘事業にかかる協賛
- ・県外各観光連絡協議会による誘客宣伝活動にかかる協賛
- ・鹿児島県観光誘致促進協議会事業にかかる協賛
- ・本県への誘客促進に繋がる事業を実施する観光関係団体との連携

(ウ) 風評被害等緊急対策

a 鹿児島県内の観光業界の安心・安全に関する取組や県内観光地の情報を新聞広告により発信した。(3回)

【誘客拡大特別対策】

新型コロナウイルス感染症による環境変化に応じた戦略的な誘客を行うと共に、九州新幹線全線開業10周年を記念した誘客キャンペーンを展開するため、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

ア 新型コロナウイルス感染症による環境変化に応じた戦略的な誘客

(7) 旅行者心理に即した誘客

a 鹿児島県のウェルネスを体験する旅行商品の造成販売

旅行商品造成数 4件, 催行実績 4,228人泊

b 重点戦略事業参画地域毎のウェルネスを観光素材として活かした情報発信

(a) 主要観光地誘客プロモーション

紙媒体やWEBメディア, SNSを活用した主要観光地の情報発信

- ・WEBサイト「ふくおかナビ」への掲載(特設ページ開設, 記事85本, ダイジェスト動画7本掲載)

- ・「ふくおかナビ」公式facebookでの誘導記事及び広告配信(3回)

リーチ数 82,142人, エンゲージメント 8,063人

- ・月刊誌「シティ情報ふくおか」への記事掲載(4回)

- ・「ふくおかナビ」取材時に同行したインフルエンサーによるSNS発信

- ・「シティ情報ふくおか」本誌に掲載した取材記事をまとめた冊子(2,000部)を制作し, 福岡県内のTSUTAYAや飲食店100箇所に設置した。また, 電子ブックを制作した。

- ・「ふくおかナビ」特設ページで使用するメインビジュアルを流用したポスター(100部)を制作し, 福岡県内のTSUTAYAや飲食店100箇所に掲示した。

(b) 離島誘客(種子島・屋久島)プロモーション

国内最大級の旅行ポータルサイトである「フォートラベル」において種子島・屋久島地域の情報発信

内容	特集ページPV	お得旅行情報メール	Facebook配信	Twitter配信	LINE配信
実績	12,784PV	191,414通配信 クリック 850件	リーチ 6,400件 クリック 38件	インプレッション 2,856件 クリック 9件	リーチ 6,865件 クリック 207件

(c) 離島誘客(奄美地域)プロモーション

内容	特集ページPV	お得旅行情報メール	Facebook配信	Twitter配信	LINE配信
実績	11,300PV	191,624通配信 クリック 1,093件	リーチ 7,139件 クリック 32件	インプレッション 2,589件 クリック 9件	リーチ 6,852件 クリック 258件

(d) 大隅誘客プロモーション(フェリーさんふらわあとのタイアップ)

「大隅半島の魅力」及び「フェリーさんふらわあの魅力」をそれぞれ盛り込んだポスターを掲出し, 船旅の魅力及び発着港のある大隅半島の観光地やグルメなどの情報発信

- ・ポスターB0サイズ15枚作成及び掲出(大阪メトロ本町駅構内エスカレーター 28日間)

「PR TIMES」により, 300メディアへリリースし, 38メディアで取り上げ, 業界誌「内航海運新聞」に記事掲載

- ・阪神なんば線ADトレイン中吊り・ドア横ジャック ポスター掲示(B3サイズ14枚 7日間)

- ・フェリーさんふらわあSNSアカウントでの配信 facebook/Twitter/Instagram合わせて4,734件のリアクション

c 県外事務所のネットワークを活用した情報発信

県外東京事務所・大阪事務所・福岡事務所において, 観光物産展での観光PRや, 地元メディアによるPRなど, 現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。

d 本県への誘客が期待できるイベント等への出展

イベント	期間	場所	来場者	内容
ツリス EXPO ジャパン 旅の祭典in沖縄	10/29(木)~11/1(日)	沖縄コンベンションセンター	24,080人	商談(15社) 観光ブース設置等

e 新規観光客の誘客を目的としたメディア招聘(メディア取材支援事業補助金)

国内のマスメディア等が実施する鹿児島県内の観光地における現地取材等に係る費用を一部支援した。

助成実施状況 6件 855,237円

- (イ) 交通キャリアと連携した切れ目のない誘客
- a NEXCO西日本SA・PAステッカー広告掲出  
 国のGoToトラベル事業及び九州観光周遊ドライブバス実施期間にあわせ、北部九州のSA・PAに観光スポットを紹介するステッカーを広告掲出した。(福岡ブロックのSA・PA 7か所)
- b 鉄道会社等とのタイアップ
- (a) 「リメンバー九州キャンペーン」の展開(JR西日本)(令和2年4月1日～令和3年3月31日)  
 九州4県(鹿児島・長崎・熊本・佐賀)がJR西日本と連携し、女性グループ、シニア世代、家族連れをメインターゲットとした、各種媒体の記事掲載や、アクティビティの特別料金提供等のキャンペーンの展開により、西日本エリアから九州4県への送客を図った。  
 ・送客実績：個人型61人泊、団体型881人泊 総計942人泊
- (b) 「旬の鹿児島共同キャンペーン」の展開(JR九州)(令和2年10月1日～令和3年3月31日)  
 JR九州と連携し、旅行商品の造成・販売、特別料金割引、販促物・宣伝物の作成、WEB広告の実施等により列車の利用促進を図り、鹿児島の新たな魅力を創出するキャンペーンを行うことで、本県への誘客促進を図った。  
 ・送客実績：53,709席
- (c) JR月別重点地域施策「5連ポスター」の制作・掲示  
 関東、関西圏をはじめ、全国からの誘客を効果的に展開するために、新たに観光ポスターを制作。全国JR主要駅約900駅に掲出した他、東日本地区の旅行会社、物産展での掲示等に活用した。
- c 航空会社とのタイアップ
- (a) JALとのタイアップキャンペーンの実施  
 JALと連携し、機内誌や機内ビデオでの本県紹介、国内線ファーストクラス機内食での食の紹介、マイルプレゼント、旅行商品の販売等により、本県就航便の利用促進及び離島地域への観光誘客を実施した。  
 JALバックツアー送客実績(10月～12月)  
 ・東京発鹿児島 7,650名(前年度3,667名)前年比208.6%  
 ・大阪発鹿児島 1,898名(前年度 881名)前年比215.4%
- (b) ANAとのタイアップキャンペーンの実施  
 鹿児島発着の対象路線に搭乗し、アンケートに回答した鹿児島県民以外のANAマイレージクラブ会員へ、抽選により特産品をプレゼントするキャンペーンを実施することで本県への誘客を図った。  
 応募総数：21,014人
- (c) アイベックスエアラインズ(株)とのタイアップ  
 機内Wi-Fiを通じて手持ちのスマートフォン等で視聴可能なエンターテインメントサービスを提供しているアイベックスエアラインズの機内に本県の紹介動画や、パンフレットを搭載した。
- (d) 成田空港におけるキャンペーン  
 成田空港周辺地域と国内線就航地域、エアラインが共同で企画するプレゼントキャンペーンに参画し、本県のPRを実施した。
- (ウ) 延期により方面変更した教育旅行の受入れ  
 新型コロナウイルスの感染拡大により、教育旅行を予定していた時期に実施できず、なおかつ方面変更を余儀なくされた学校の修学旅行の実施を支援し、本県への修学旅行の誘致を図った。  
 ・催行件数 8件 1,076人 783,300円
- イ 九州新幹線全線開業10周年キャンペーン
- (ア) 博多駅デジタルサイネージ広告  
 博多駅のデジタルサイネージに年間を通じて、本県のPR広告を掲出した。(1回7秒表示、480回/日)
- (イ) 山陽九州新幹線相互直通運転10周年記念キャンペーン  
 JR西日本と連携し、10周年記念旅行商品の造成・販売やアクティビティなどの割引特典、JR大阪・京都・広島駅でのデジタルサイネージ広告、観光PR・物販イベント等を実施した。

(ウ) 九州観光推進機構と連携した誘客促進

- ・ 観光素材集の作成
- ・ 観光素材説明会の実施

2020年下期：エージェント向けにプレゼンテーション動画の制作・公開，観光素材集の配付及びエージェント向けサイトへの掲出を実施した。

2021年上期：エージェント向けサイトの刷新，プロモーション動画等の掲載，旅行商品造成支援情報の提供，オンライン相談会の実施

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

観光庁「宿泊旅行統計調査」令和2年年間値（確定値）本県分概要

延べ宿泊者数（人泊）

区分	人泊	対前年比
鹿児島県	5,126,520	▲38.7%
うち国内客宿泊数	5,005,140	▲33.5%

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大きく観光客が落ち込み中、新型コロナウイルス感染症による環境変化に対応した鹿児島のウェルネスを観光素材とする各種事業を展開すると共に、県内広域に波及効果がある観光周遊ルートづくりや、九州新幹線全線開業10周年キャンペーン等を併せて展開した。

これにより、前年比増減率は▲38.7%となり、全国の前年比増減率▲48.9%より押さえられることができた。

また、コロナ禍後の旅先として鹿児島を選んでもらえるよう、観光PRを実施することができた。

(3) 国内誘客プロモーション事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

H30年度に実施したマーケティング調査の結果に基づいた、戦略的かつ効果的なプロモーション活動の展開により、県外からの誘客促進を図る。

また、市場における動向、観光需要を的確に把握し、今後の観光施策への活用につなげる。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア マーケティング調査等に基づく誘客促進

(ア) SNSを活用した情報発信

インフルエンサー等の活用により若年層を対象とした効果的なプロモーションを展開した。

実施内容	実施時期	実績
インフルエンサーの招聘・情報発信 ・村上萌 (instagramフォロワー6.7万人) ・WEBメディア「NEXTWEEKEND」 (instagramフォロワー5万人) ① 3泊4日取材ツアー ② 取材ツアーライブ配信 ③ WEB記事掲載 ④ 動画制作・配信	① 令和3年12月13日～16日 ② 令和2年12月30日 ③ 令和2年1月 ④ 令和3年1月～2月	② 視聴者数：約2,000人 IGTV再生回数：696回 ③ 記事PV数計：11,295 ④ IGTV再生回数：10,896回
インスタグラム投稿キャンペーン（①冬の夢旅，②#DiscoverKagoshima）	令和2年12月 ～令和3年2月	①参加数：33件 ②投稿数：217件
Instagramライブ配信	令和3年2月5日	視聴者数 約2,000人 IGTV再生回数：9,254回
ブライダルフォトツアー ① ツアーレポート記事 ② ブライダルフォトスポット紹介動画 ③ ツアーレポートSNSマガジン		① 1,429PV ② 動画再生回数 484回 ③ インプレッション 37,440

		リアクション数	1,261
インフルエンサーが訪れた行程を巡る旅行商品造成販売			
① SNS 広告（フィード広告）	① 令和3年3月16日～31日	① インプレッション	358,032
		クリック数	2,331
② SNS 広告（ストーリーズ広告）	② 令和3年3月18日～31日	② インプレッション	28,428
		クリック数	464
③ WEB 記事掲載	③ 令和2年12月 令和3年3月	③ 16,038PV インプレッション	36,229
		リアクション数	1,270
④ 旅行商品・造成販売	④ 令和2年12月23日～ 令和3年1月8日 令和3年3月8日～ 3月31日	④ ツアー申込	1件

(イ) メディア媒体を活用した情報発信

中高年層を対象に購読者数が多い活字媒体や映像媒体を活用したプロモーションを展開した。

a 活字媒体を活用した情報発信

情報発信の媒体	実施時期	実績
雑誌「CREA」（2ページタイアップ）	令和3年3月5日発売	部数：52,000部
雑誌「CREA」WEB版	令和3年3月8日～3月31日	PV数：14,698
小冊子（16ページ制作）・配付	—	部数：5,000部

b 洗練された上質な大人旅

情報発信の媒体	実施時期	実績
月刊誌「Discover Japan」（8ページタイアップ）	令和3年3月発売	部数：100,000部
同誌 8ページ抜刷作成	令和3年3月15日納品	部数：3,000部 実店舗設置配付 200部
Discover Japan WEB	令和3年3月15日掲載	—

c 映像媒体を活用した情報発信

実施内容	放送期間	放送地域	実績
テレビスポットCM放映	令和3年3月12日～28日	関西圏、北部九州	放映数：116本
インターネット動画広告	令和3年3月12日～28日	北部九州	視聴回数：146,826回（Youtube） 視聴回数：112,964回（Tver）

(ウ) 特定コンテンツ等を用いた誘客

a 洗練された上質なゴルフ旅

実施内容	実施時期	実績
ゴルフ場利用及び県内宿泊施設を組み合わせた旅行商品造成・販売	令和3年3月8日～3月31日	19件39名
特設WEBサイトの制作・宣伝	令和3年2月22日～3月31日	総PV数：85,124件
活字媒体による情報発信（雑誌：BRUDER）	令和3年3月10日～3月31日	部数：10,000部

b 九州旅客鉄道株式会社とのタイアップ

九州新幹線全線開業10周年記念イベント

実施内容	実施時期	実績
観光PR及び食品販売ブースの展開（博多駅）	令和3年3月13日～3月14日	来場者数：7,957人
観光パンフレット封入バッグ制作・配布	令和3年2月22日～9月30日	部数：4,000部
パンフレット制作・配布	令和3年2月22日～9月30日	部数：60,000部

c 佐賀県民限定プレゼントキャンペーン

実施内容	実施時期	参加人数
インスタグラム投稿によるプレゼントキャンペーン	令和2年12月1日 ～令和3年3月12日	対象者：10名

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、延べ宿泊者数は大きく減少したが、マーケティング調査の結果に基づき、コロナ後に旅行先として本県を選んでもらえるよう、ターゲット毎に効果的な媒体を活用した情報発信を行ったことにより、WEB記事連載によるPV数計11,295やCM放映のYouTubeによる再生回数146,826回など、本県の認知度を高めることができた。

(4) 2つの世界自然遺産(屋久島・奄美)周遊促進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を機に、2つの世界自然遺産を活用した島旅の魅力発信及び観光客の受入環境整備を行い、奄美群島と屋久島への相互の誘客促進を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア ワークショップの開催

奄美大島から屋久島入りする新たな周遊観光ルート策定に向けたワークショップを開催した。

	開催日時	開催地	参加人数
1回目	令和2年12月1日	屋久島	18
2回目	令和2年12月17日	奄美大島	19
3回目	令和3年2月19日	屋久島	14

イ 空港等での聞き取り調査

奄美空港・屋久島空港・鹿児島新港(奄美・沖縄フェリーターミナル)・鹿児島港(種子・屋久高速船ターミナル)において、県外からの来島者や乗船者を対象に、来年度以降の周遊観光ルートに係る旅行商品化及びプロモーションの参考となる事項について聞き取り調査を実施した。

(ア) 調査期間 令和2年12月19日～20日、令和3年3月6日～7日

(イ) 回収票数 367票

ウ モニターツアーの開催

旅行会社、メディア関係者、旅行系インフルエンサーを対象としたモニターツアーを実施した。

発着地	日程	参加人数
福岡空港	令和3年3月14日～16日	12
伊丹空港	令和3年3月14日～16日	2

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

奄美と屋久島の2つの世界自然遺産登録（候補）地の周遊促進を目的に、ワークショップを開催し、地元関係者の意見や要望から両地域の現状や課題を整理する等、観光コンテンツの磨き上げと受け入れ体制の向上を図ることができた。また、来島者を対象とした聞き取り調査やメディア関係者等を対象としたモニターツアーを実施し、魅力的な周遊旅行商品造成に向けて、具体的な意見を得ることができた。

(5) 南九州観光振興事業（観光課）

<1> 施策の目的

南九州3県（鹿児島県・熊本県・宮崎県）が連携し、南九州広域周遊ルートの造成・提案や、修学旅行の誘致活動を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国内対策事業

(ア) 南九州3県誘客促進事業

GoToトラベルキャンペーン等を利用して南九州3県へ訪れる観光客の増加を図るため、株式会社リクルートライフスタイルと連携し、紙面やSNS等を活用し情報発信を行った。

a webを活用した情報発信

- ・ 南九州3県のランディングページを作成し、じゃらんnetに掲載（令和2年12月～令和3年2月）
- ・ Facebook, Instagramを活用した広報配信（令和2年12月11日～令和3年1月8日）

b 紙媒体を活用した情報発信

- ・ 雑誌「九州じゃらん2021年1月号」への掲載
- ・ 抜き刷りパンフレット作成 10,500部
- ・ デジタルパンフレット作成

(イ) 南九州3県での情報発信事業

a 南九州3県での広域周遊ルートの情報発信事業

南九州3県をまたぐ観光周遊ルートをつくり、各県観光サイトに掲載し、情報発信を行った。

① 掲載webサイト

熊本県「熊本県観光サイト もっと、もーっと！くまもっと。」：<https://kumamoto.guide/>

鹿児島県「鹿児島県観光サイト かのしまの旅」：<https://www.kagoshima-kankou.com>

宮崎県「みやざき観光情報 旬ナビ」：<https://kanko-miyazaki.jp>

イ 海外対策事業

(7) 台湾向け情報発信事業

a 台湾市場からの誘客促進に向けた情報発信事業

訪日旅行再開を見据え、南九州3県の観光情報を発信し、訪日旅行に意欲がある台湾のFIT層への機運醸成を図るため、3県に直行便が就航しているチャイナエアライン等と連携した情報発信を実施した。

① チャイナエアラインFacebookを活用した情報発信 [フォロワー：105万人]

② 台湾パワーブロガーによる情報発信 [フォロワー：58万人]

③ 九州ファンが集うFacebookサークル（九州旅遊情報）による情報発信 [フォロワー：11万人]

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 国内対策事業

修学旅行誘致セールス等を実施し、南九州広域周遊ルートの周知・誘客促進が図られた。

イ 海外対策事業

台湾市場における情報発信を実施し、南九州観光情報の周知及び3県の認知度向上が図られた。

(6) フィルムコミッション活動支援事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

本県における映像製作の支援環境を整え、本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより、本県の更なる観光振興を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

本県における映像制作の支援環境を整えるとともに、製作支援を実施した。

支援実績

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
映画	11件	7件	13件	9件
CM	13件	8件	12件	9件
TV番組	33件	15件	28件	22件
TVドラマ	2件	—	1件	1件
その他	17件	18件	28件	34件
計	76件	48件	82件	75件

※上記表については、製作支援を行った総数であり、実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

制作支援を行うことで、テレビ等による本県の魅力を情報発信する機会を創出し、本県の更なる観光振興に繋げることができた。

(7) 観光サイトリニューアルによる誘客促進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県の観光の飛躍につなげるため、情報発信の窓口となる観光サイトに魅力あるコンテンツを掲載することで誘客を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア システムの更新

(ア) 学校・旅行会社サイトの改訂

- a グローバルナビゲーション改訂により新たにクルーズの項目を設けた。
- b クルーズカテゴリの改訂による、一覧及び詳細ページのコーディング・システムを連結した。
- c CMS管理画面への機能追加

(イ) モデルコースページの改訂

- a 検索軸に所要時間を追加し、スマートフォン版にも適用した。
- b トピックス機能を追加し、スマートフォン版にも適用した。
- c スマートフォン版の回遊導線の強化を行った。

(ウ) 宿泊施設ページの改訂

- a 旅の予約のカテゴリを改訂し、観光スポットと同様にエリア分けにした。
- b 宿泊施設 一覧及び詳細ページのコーディング・システムを連結した。
- c CMS管理画面への機能追加
- d 旅の予約かでの改訂によりヘッダー・フッターの簡易版をスマートフォン版にも適用した。

(エ) アクセスページの改訂

- a 旅に便利な交通手段を追加し、検索性がより向上した。
- b アクセス資料と関連リンクの追加

(オ) その他上記に関連する更新等

- a CMS管理画面でのCSVダウンロード機能追加

イ コンテンツ制作

(ア) クルーズコンテンツを拡充し、法人サイト側から観光サイト側へ移設し、旬のおすすめバナーを追加することでサイト内をより回遊させることができた。

(イ) 取材による特集記事の制作により、鹿児島県の素材をアピールできる情報を特集記事にまとめた。

(ウ) 既存情報のリライトによる特集記事の制作により、グルメ・お土産情報の構成変更を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

新型コロナウイルス感染症拡大による観光需要の低迷に伴い、訪問数（セッション）が前年度比88.6%、ユニークユーザー数（固有ユーザー数）が前年度比91.3%となったが、新たなコンテンツを制作するなどサイトの利便性向上が図られた。

県観光サイト「かごしまの旅」アクセス実績

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
訪問数（セッション数）	3,208,289回	3,359,406回	3,411,414回	3,023,524回
ユニークユーザー数	2,367,434人	2,487,088人	2,545,548人	2,324,680人

(8) 海外誘客ステップアップ事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光推進機構等と連携した、現地又はWEBでのプロモーションの実施の他、現地のメディア及び旅行会社と連携した各種事業の実施など、アフターコロナに向けた誘客促進を図る。

## ＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

### ア 直行便市場からの誘客強化

#### （ア）メディア等プロモーション

海外における本県の認知度向上を図るため、韓国、台湾では「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやテレビ、雑誌など様々なメディアを活用した情報発信や現地旅行博覧会への出展など、BtoCをメインとしたプロモーションを行い、アフターコロナに向けた誘客促進を図った。

##### a 韓国

- ・ 現地SNSを活用した情報発信（naverブログ及びFacebookによる情報発信）
- ・ 旅行博覧会への出展及びセールス（日韓交流おまつり「2020 in Seoul」）

##### b 中国

- ・ 現地SNSを活用した情報発信（Wechat及びWeiboを活用した情報発信）
- ・ 旅行博覧会への出展及びセールス（九州オンライン旅行博）
- ・ BtoC向けプロモーション（日本に住む中国人のテレビ番組の制作及びSNSやYouTube等での情報発信）
- ・ BtoB向けプロモーション（中国旅行会社向け販促冊子での広告掲出）

##### c 台湾

- ・ 現地SNSを活用した情報発信（Instagram及びFacebookによる情報発信）
- ・ BtoC向けプロモーション（鹿児島ポップアップストアの開催）

##### d 香港

- ・ 現地SNSを活用した情報発信（Facebookによる情報発信）
- ・ BtoC向けプロモーション（現地旅行雑誌等への掲載による情報発信、現地でのBtoC向けイベントでの鹿児島発信）

#### （イ）旅行会社等プロモーション

直行便が就航している市場に対し、観光ビジネスパートナーによる現地又はWEBセールス及び商談会を実施した。

また、在日の海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換、商談会を実施した。

さらに、WEBを活用したオンラインツアー等の実施を通じてアフターコロナに向けた旅行商品づくりの促進を図った。

##### a 韓国

- ・ 旅行会社と連携したプロモーション（HANATOURL JAPANと連携した本県PR映像制作及び同社コンテンツにおける情報発信）
- ・ 商談会への参加（九州観光オンライン説明会・商談会への参加＜韓国側参加社：22社、九州側参加社：32社＞）

##### b 中国

- ・ 旅行会社との意見交換（Trip.comと商品造成に係る意見交換及び商談会を実施）
- ・ 商談会への参加（中国旅行会社とのオンライン商談会への参加＜中国旅行会社：5社＞）
- ・ オンラインツアーの実施（バーチャル体験型オンラインツアーの実施＜実施回数：2回、参加人数：91人＞）

##### c 台湾

- ・ 商談会の開催（チャイナエアラインキーエージェントとのオンライン商談会の開催＜台湾旅行会社：8社、鹿児島県参加社：17社＞）
- ・ オンラインツアーの実施（バーチャル体験型オンラインツアーの実施＜実施回数：1回、参加人数：28人＞）

##### d 香港

- ・ 商談会の開催（香港旅行会社EGL TOURSとのオンライン商談会の実施＜EGL TOURS参加者：8人、鹿児島県参加社：19社＞）
- ・ オンラインセミナーの実施（EGL TOURSと連携し、鹿児島観光オンラインセミナーを実施）

### イ 戦略的市場からの誘客強化

海外における本県の認知度向上を図るため、タイとシンガポールでは「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやテレビ、雑誌など様々なメディアを活用した情報発信や現地旅行博覧会への出展など、BtoCをメインとしたプロモーションを行い、アフターコロナに向けた誘客促進を図った。

(7) メディア等プロモーション

a タイ

- ・現地SNSを活用した情報発信（Facebookによる情報発信）

b シンガポール

- ・現地SNSを活用した情報発信（Facebookによる情報発信）
- ・BtoC向けプロモーション（鹿児島WEBセミナーの実施）

c ベトナム

- ・現地SNSを活用した情報発信（Facebookによる情報発信）

d 欧米豪

- ・現地SNSを活用した情報発信（Facebookによる情報発信）
- ・BtoC向けプロモーション（テレビ局と連携した情報発信、焼酎オンラインイベントの実施、欧米豪向け旅行雑誌による情報発信）

(イ) 旅行会社等プロモーション

本県への観光客誘致促進を図るため、WEBセールスを実施した。

また、WEBを活用したオンラインツアー等の実施を通じてアフターコロナに向けた旅行商品づくりの促進を図った。

a タイ

- ・旅行博覧会への出展及びセールス（オンライン旅行博TITF）

b シンガポール

- ・オンラインツアーの実施（バーチャル体験型オンラインツアーの実施＜実施回数：3回、参加人数：45人＞）

c ベトナム

- ・旅行博覧会への出展及びセールス（現地旅行博VITM2020）
- ・オンラインツアーの実施（バーチャル体験型オンラインツアーの実施＜実施回数：10回、参加人数：133人＞）

ウ サイクルツーリズム

インバウンド向けの新たな観光資源として有効であることから、九州・山口各県と連携して、「九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルート」を設定し、サイクルマップを作成した。

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

新型コロナウイルス感染症による直行便等の運休により、外国人延べ宿泊者数は対前年比で85.5%減少したが、アフターコロナに向けた直行便市場及び戦略的市場からの誘客強化のため、メディアや海外旅行会社等を活用した現地及びWEBでのプロモーションを実施し本県の認知度向上を図ることができた。

観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者数

（単位：人泊）

	H30		R1		R2	
		対前年比		対前年比		対前年比
鹿児島	830,540	11.6%	839,900	1.1%	121,380	▲85.5%

(9) 国際クルーズ船誘致促進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため、本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 現地セールス活動

(ア) 国内他港との連携事業

東京都、静岡県、和歌山県、高知県の4都県と連携し、各港相互の利用促進を図るための事業を実施した。

a シンポジウムへの参加

実施日	開催地	主な内容
令和2年10月23日	東京都	クルーズの運航再開に向けた取組の紹介と、各県担当者や船社とのパネルディスカッション

b 連携事業としてクルーズ船社等へ配布するパンフレットを作成した。

(イ) 国内外セールス活動

本県へのクルーズ船誘致促進のため、国内外でクルーズ船社や旅行社等へのセールス活動等を行った。

実施日	訪問先
令和元年5月13日～14日	東京
令和元年5月27日～30日	台湾
令和元年7月10日～12日	東京
令和元年8月28日～31日	中国
令和元年9月24日～25日	東京
令和元年10月3日～4日	東京
令和元年10月31日～11月1日	東京
令和2年1月17日～18日	大阪
令和2年1月20日～25日	ドイツ・スイス
令和2年3月3日～4日	東京
令和2年3月9日～11日	東京
令和2年11月10日	東京

イ 船社等視察受入

実施日	視察地
平成31年4月23日	マリポートかごしま
令和元年5月28日	鹿児島港，県内観光地
令和元年6月18日～19日	マリポートかごしま，県内観光地
令和元年8月5日～8日	マリポートかごしま，県内観光地
令和2年11月19日～22日	県内観光地
令和3年3月22日～27日	県内観光地
令和3年3月29日～31日	県内観光地

ウ 海外クルーズ・コンベンションへの参加

実施日	開催地	主な活動内容
平成31年4月7日～14日	米国	日本ブースにおける本県寄港に向けた船社，旅行会社等へのセールス等
令和2年10月6日～9日	オンライン	鹿児島県ブースにおける本県寄港に向けた船社等へのセールス等

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県内各港クルーズ船入港実績

（単位：回）

港名	H30年	R1年	R2年
鹿児島	100	106	4
西之表	2	6	—
宮之浦	24	17	1
名瀬	21	20	2

古 仁 屋	1	2	—
湾	1	—	—
平 土 野	—	3	—
和 泊	—	1	—
与 論	2	1	—
合 計	151	156	7

新型コロナウイルス感染症の影響等による寄港キャンセルが発生し、寄港数が減少した。

(10) 外国人観光客受入体制整備事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

国や九州観光推進機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が安心して周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光案内の実施

国際観光推進機構の「JNTO認定外国人観光案内所」（外国人のための外国語による観光案内所）とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

- ・ JNTO認定外国人案内所：22か所

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士（国家資格）になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・ 実施日：令和2年6月14日
- ・ 参加者：20人

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図るの一環として、全国通訳案内士（国家資格）等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・ 実施日：令和2年9月5日～令和2年10月10日（座学講習5回、実務研修1回）
- ・ 参加者：延べ29人

エ 外国人観光客受入体制推進講習会開催

海外からの観光客の増加や多様化に対応するため、外部講師による、外国人観光客の受入体制の向上を目的とした講演や国（市場）別に個別相談対応を行った。

- ・ 実施日：令和2年12月16日
- ・ 参加者：75人
- ・ 外部講師：3人

オ インバウンド実務担当者研修会開催

本県における外国人観光客の受入体制づくり・誘客促進を図るため、県内観光関係実務担当者を対象にした会議・意見交換会を実施。インバウンドに関する基調講演のほか、「インバウンド受入状況や今後の取組について」等について、参加者同士の意見交換を実施した。

(ア) 上期

実施日：令和2年10月2日、参加者：110人

(イ) 下期（中級編）

実施日：令和3年2月4日、参加者：27人

(ウ) 下期（初級編）

実施日：令和3年2月10日、参加者：24人

カ ムスリム・フレンドリーセミナー及びモニターツアーの実施

ムスリムやベジタリアンなど多様な文化、習慣を持つ外国人旅行者が安心して「食」を楽しむとともに、快適に滞在できる受入環境の整備を推進するためにセミナー及びモニターツアーを実施した。

- ・実施日：令和3年2月24日
- ・参加者：セミナー 29人  
モニターツアー 16人

キ 多言語コールセンターの設置及び運営

本県を訪れた外国人観光客が安心して周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24時間365日対応の電話通訳サービスを提供した。

- ・開設日：平成30年7月27日
- ・対象：宿泊施設、観光案内所、観光施設、交通事業者、飲食店、小売店（大規模小売店舗除く）、医療機関、警察、消防及び外国人観光客（令和元年10月1日から医療機関、警察、消防を追加）
- ・利用件数：毎月平均4件（令和2年度）

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などにより、受入体制の整備向上が図られた。

(11) 鹿児島県の国立公園周遊促進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

欧米系の海外旅行者層に多い「SIT(Special Interest Tour)層」の中でも自然体験旅行に特化したSIT層に鹿児島県の国立公園（霧島錦江湾、屋久島、奄美群島）の魅力を訴求し、欧米豪市場から本県への誘客促進と旅行消費額の増大を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

本県の有する3つの国立公園について、旅行会社等の招請、モニターツアーの実施、コンテンツの磨き上げを実施した。

ア 海外向け旅行会社・メディアの招請

- ・時期：令和2年11月26日～11月30日
- ・招請者：4人（フランス1人、イタリア1人、オーストラリア1人、アメリカ1人）
- ・訪問エリア：3か所（霧島錦江湾国立公園、屋久島国立公園、奄美群島公園）

イ モニターツアーの実施

- ・時期：令和3年3月5日～3月6日
- ・参加者：6人（霧島コース：アメリカ1人、香港1人、屋久島コース：カナダ1人、ベルギー1人、奄美コース：アメリカ2人）
- ・訪問エリア：3か所（霧島錦江湾国立公園、屋久島国立公園、奄美群島公園）

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症による世界的な旅行需要の低迷により、欧米豪からの外国人延べ宿泊者数は対前年比で82.4%減少したが、アフターコロナに向けた旅行商品造成や情報発信により、欧米豪市場における本県の認知度向上を図ることができた。

観光庁「宿泊旅行統計調査」外国人延べ宿泊者数（本県分のうち欧米豪を抜粋）

（単位：人泊）

	H30年		R1年		R2年	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比
鹿児島	38,970	17.1%	47,640	22.2%	8,370	▲82.4%

(12) スポーツ観光王国かごしま確立事業（スポーツ振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

スポーツを通じた観光客の増加を図るため、官民一体となってスポーツキャンプ・大会誘致及び参加者・観客への本県観光PRに取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツキャンプ対策県連絡会の開催

	開催期日	内 容	参加者数
第1回	令和2年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズムに係る県の取組について</li> <li>・地域振興局における取組状況について</li> <li>・令和元年度鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況説明</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による影響について 各団体における状況報告</li> <li>・ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の事例発表</li> </ul>	22人
第2回	令和2年12月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈スポーツキャンプ・合宿受入向上講習会として実施〉</li> <li>・県のスポーツ振興の施策について</li> <li>・講演① 演題：合宿地に求められる受入体制について 講師：杉島幸治氏（(一社)九州スポーツツーリズム推進協議会代表理事）</li> <li>・講演② 演題：陸上競技の聖地創りプロジェクト 講師：隈本祐貴氏（大崎町企画調整課）</li> </ul>	80人

イ 関東・関西・福岡地区大学生の合宿誘致

(ア) スポーツ合宿に係る誘致活動の実施

例年は、関西・福岡地区において、大学生や実業団を対象にしたスポーツ合宿セミナーを開催しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響でセミナーの開催が困難であったことから、旅行業者と連携して、関東・関西・福岡地区の大学生・実業団を対象に、パンフレットの郵送等によるセールス活動を実施

セールス実績 関東地区：40団体（36大学）

関西地区：217団体（42大学，3実業団）

福岡地区：48団体（16大学）

計：305団体（94大学，3実業団）

ウ 本県でキャンプを行うプロスポーツチーム等に対する激励品の贈呈

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
プロチーム等受入団体数	14団体	24団体	22団体	13団体

エ 本県でキャンプを行うプロスポーツチームの情報発信

(ア) キャンプ情報案内所の設置

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル内（1階到着ロビー横）	令和3年1月22日～2月20日

(イ) 「かごしまプロスポーツキャンプガイドブック2020」の作成・配布

設 置 場 所	設置期間
鹿児島空港国内線ターミナル，鹿児島中央駅，県内ホテル 等	令和3年1月22日～2月26日

(ウ) 課公式Instagram「どんすば」を活用した「Jリーグ春季キャンプ応援キャンペーン」の実施

実 施 期 間	応募者数
令和3年1月22日～3月1日	142件

〈3〉 施策の成果(アウトカム)

合宿セミナーなどを通じて、本県のスポーツキャンプ・合宿環境等のPRによる合宿誘致に取り組むとともに、県内で実施される春季プロスポーツキャンプ等の周知を図ることにより、交流人口の拡大や地域活性化に寄与した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、県外からの合宿者数が大幅に減少した。

【スポーツキャンプ・合宿の受入状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
延べ人数（人）	143,946	144,657	152,536	160,572	45,945

対前年度比増減 (%)	2.0	0.5	5.4	5.3	△71.4
対前年度増減数 (人)	2,840	711	7,879	8,036	△114,627
実人数 (人)	32,383	32,877	33,446	37,047	7,257
団体数	1,284	1,273	1,308	2,168	383

(13) 東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致事業 (スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

〈1〉 施策の目的

東京オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会の開催効果を県内に波及させるため、市町村や関係団体と一体となって、参加国が実施する事前合宿の誘致・受入に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 「東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致対策連絡会」の開催

開催期日	内容	参加者数
令和2年年7月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度県事業概要</li> <li>各市町村の取組</li> <li>誘致事例発表</li> <li>意見交換</li> </ul>	27人

イ 市町村や関係団体等と一体となった誘致セールスの実施

〈3〉 施策の成果(アウトカム)

新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピック・パラリンピックが延期になったことから、引き続き誘致活動を継続した。

誘致を希望する市町村が、県及び関係団体等と設置した事前合宿誘致組織に対する支援として、国内外競技団体へのPR活動や、事前合宿の誘致や受入に係る相手国・地域との調整などを行い、ベネズエラとの東京オリンピック事前合宿に係る協定を締結した。

【事前合宿に係る協定締結状況】

受入市町	協定締結国	競技種目	協定締結日
大崎町	台湾	陸上競技	令和元年6月22日
大崎町	トリニダード・トバゴ	陸上競技	令和元年7月15日
薩摩川内市	アルゼンチン	男子バレーボール	令和2年2月3日
薩摩川内市	ベネズエラ	男子バレーボール	令和3年3月24日

(14) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業 (スポーツ振興課) (地方創生関連事業)

〈1〉 施策の目的

本施設が核となり、交流人口の拡大や地域活性化を図るため、トップアスリート等の合宿誘致・受入に関する業務及び施設維持管理等を行う。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 事業内容

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の管理運営

イ 事業主体

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅指定管理者

(ア) 名称 ニチガスクリエイト・ミズノ共同事業体

(イ) 期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

ウ PR活動

(ア) ホームページやSNSを活用したPR

(イ) 広報用リーフレットを活用したPR

(ウ) マスコミ等を通じたPR

(エ) 県政広報番組を活用したPR

エ 誘致活動

- (ア) 九州・中国・四国・近畿・東海・関東などの各エリアで開催される陸上競技の各種大会に出向いて、本施設のPRを実施（計10回を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回のみ実施）
- (イ) これまで本施設で合宿を行った団体や、各種大会でのPR時に連絡先をいただいた団体に対し、電話やパンフレット送付によるPR活動を実施
- (ウ) 日本陸連への誘致活動（令和2年10月）
- オ 令和2年度の主なスポーツイベントの企画・実施
  - 施設利用促進や競技力向上を図るため、走り方教室などのスポーツイベントを実施
- カ トップアスリートを活用した地域スポーツ振興
  - (ア) 合宿を行うトップアスリートによる、地域の学校等での交流やスポーツ教室
    - 右代啓祐選手（十種競技日本記録保持者）等による学校訪問やスポーツ教室の実施
- キ ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅陸連協会の開催

	開催期日	内 容	参加者数
第1回	令和2年9月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会のオブザーバーについて</li> <li>・令和元年度スポーツキャンプ・合宿状況調査結果について</li> <li>・県の令和2年度の新規事業について</li> <li>・令和元年度の利用状況や令和2年度の取組等について</li> <li>・自治体の取組状況について（鹿屋市、志布志市、大崎町）</li> <li>・施設代表者向けスポーツ栄養学講座</li> </ul>	40人
第2回	令和3年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の利用実績について</li> <li>・三者協定について（大隅アスリートサポートチーム、大崎町、県）</li> <li>・2021 Japan Athlete Games in Osakiについて</li> <li>・令和3年度のジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の取組について</li> <li>・令和3年度の県の取組について</li> <li>・令和3年度の各市町のスポーツ合宿等に係る施策について</li> <li>・管理棟2，3階の活用について</li> </ul>	26人

＜3＞ 施策の成果(アトカム)

ア 主な成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、合宿団体のキャンセルが多数発生したことから、年間利用人数は、前年度比43.6%減の延べ23,334人とどまったが、2月には、鹿児島陸上競技会、大崎町陸上競技の聖地創り実行委員会の主催で、男子100mの山縣亮太選手、本県出身で女子100mの鶴田玲美選手などのトップアスリートを招待した「2021 Japan Athlete Games in Osaki」が開催されるなど、コロナ終息後の利用促進に向けたPR等を行うことができ、令和3年度に向けて、本県の交流人口の拡大及び地域活性化につなげることができた。

イ 令和2年度利用者数及び主な利用者（トップアスリート）

(ア) 利用者数 23,334人

(イ) 主な利用者（トップアスリート）

- 右代 啓祐 選手（十種競技日本記録保持者）
- 小池 祐貴 選手（2019年世界陸上選手権100m, 200m出場）※東京オリンピック代表
- 寺田明日香 選手（女子100mハードル日本記録保持者）※東京オリンピック代表
- 戸邊 直人 選手（走高跳日本記録保持者）※東京オリンピック代表
- 山本 篤 選手（2017世界パラ陸上競技選手権走り幅跳び銀メダル）※東京パラリンピック代表

(15) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課）（地方創生関連事業）（再掲）

2（2）①(2)において前述

(16) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課）（地方創生関連事業）（再掲）

2（2）①(3)において前述

### (3) かがしまの「食」などの国内外マーケットへの戦略的な展開

#### ①海外展開に対する支援の充実・強化

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
貿 易 振 興 費	116,665	24,288	—	92,377	114,883	23,909	—	90,974
内								
貿易促進事業	49,182	9,232	—	39,950	48,443	9,012	—	39,431
海外ビジネス支援事業	8,793	2,852	—	5,941	8,793	2,852	—	5,941
訳								
上海マーケット開発推進事業	52,472	9,095	—	43,377	51,429	8,936	—	42,493
ASEANマーケット販路拡大事業	6,218	3,109	—	3,109	6,218	3,109	—	3,109
計	116,665	24,288	—	92,377	114,883	23,909	—	90,974

#### (1) 貿易促進事業（かがしまPR課）（地方創生関連事業）

##### <1> 施策の目的

香港に駐在員を設置し、現地での情報収集、県産品のPRなどの各種支援を行うほか、九州・山口合同による商談会の実施や各種貿易関係団体の育成等により貿易の促進を図る。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

##### ア 商談会等の実施

九州各県並びに北九州市、福岡市及び熊本市で構成する九州貿易振興協議会において、九州・山口圏内の優れた食品を製造・加工・販売する企業の海外での販路開拓を目的に、オンライン商談会や渡航を伴わない現地でのプロモーションイベント等を実施した。

##### (ア) 国内事前相談会、セミナー

年 度	実施内容	実施場所	期 間	参加企業数
H30	アメリカ事前相談会	福岡、宮崎	平成30年10月16日、18日	9社
R1	米国市場セミナー	福岡、鹿児島	令和元年8月26日、27日	21社
R2	米国・ニューヨーク市場進出セミナー	オンライン	令和2年9月14日～30日	31社

##### (イ) 海外現地商談会、市場（産地）視察、プロモーションイベント

年 度	実施内容	実施場所	期 間	参加企業数
H30	商談会	国内(福岡、宮崎)	平成30年11月13日、15日	34社（うち県内8社）
R1	商談会、市場視察	国内(福岡、鹿児島)	令和元年10月21日、24日	43社（うち県内10社）
R2	商談会	オンライン	令和2年12月14日～ 令和3年1月29日	23社（うち県内5社）
	プロモーションイベント	オンライン	令和3年3月24日～26日	11社（うち県内1社）

##### イ 香港駐在員設置事業

香港の駐在員が、商談会・見本市等海外事業の推進、貿易情報の収集・提供、県産品の広報宣伝等を行ったほか、各種交流の支援を行った。

年 度	来訪者	調査	会議	訪問先訪問
H30	410人	43件	45回	294件
R1	245人	72件	47回	280件
R2	87人	62件	79回	134件

##### ウ 貿易団体育成事業

日本貿易振興機構鹿児島貿易情報センター及び(公社)鹿児島県貿易協会への負担金支出を行うことにより、両団体の育成強化を図った。

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により対面式イベントは中止としたが、オンライン商談会等の実施により、本県産品の海外における販路開拓が促進された。また、香港駐在員を活用した情報収集・提供や、県内企業の渡航を伴わないフェア等の開催により、本県の認知度向上が図られた。

(2) 海外ビジネス支援事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

県内企業の海外ビジネス展開を支援するため、貿易情報の収集・提供や各種海外事業を実施する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア インターネット等を活用した貿易情報の収集・提供

- ・メーリングリストによる情報交換（登録者数：198人・団体）
- ・情報誌の発行
- ・ホームページによる情報発信

イ 県産品のPR及び販売促進活動

名称等	期 間	場 所
マカオの百貨店での「鹿児島フェア」の開催	令和2年6月17日～30日	ニューヤオハン
シンガポール・香港・タイの日系量販店での「鹿児島フェア」の開催	令和3年2月27日・28日	DON DON DONKI 17店舗（シンガポール8店舗、香港7店舗、タイ2店舗）
台湾の高級スーパーでの「鹿児島フェア」の開催	令和3年3月12日～14日	裕毛屋（台中市内1店舗）
米国の日系スーパーでの「鹿児島フェア」の開催	令和3年3月26日～31日	ニジヤマーケット（カリフォルニア州の10店舗）

ウ 海外バイヤー等招聘商談会

年度	名称等	期 日	場 所	参加企業数	国・地域
H30	うんまか鹿児島輸出商談会	平成30年9月6日	鹿児島市	61社	東アジア、北米、欧州、豪州等
R1	うんまか鹿児島輸出商談会	令和元年9月2日	鹿児島市	64社	アジア全域、北米、欧州等
R2	海外バイヤー向けオンライン商談	令和2年10月8日～ 令和3年2月26日	オンライン	30社	中国、香港、マカオ、シンガポール、マレーシア
	国内バイヤー向けオンライン商談	令和2年11月17日・18日	オンライン	18社	国内

エ 専門のアドバイザーによる貿易相談・セミナーの実施

年 度	貿易相談件数	貿易セミナーの開催回数（場所）
H30	353件	2回（西之表市、霧島市）
R1	452件	1回（鹿児島市）
R2	373件	実施なし

オ 貿易研修事業（全てオンライン）

名称等	期 日	参加者
焼酎輸出促進セミナー	令和2年8月6日	54名
基礎から始める商談スキルセミナー	令和2年8月25日	25名
海外アドバイザーセミナー	令和2年9月18日	38名
シンガポールオンラインセミナー	令和2年10月2日	18名
日本と諸外国のEPAの概要や活用メリットについて	令和2年12月4日	20名
貿易実務講座（全3回）	令和2年12月18日、 令和3年1月14日・21日	累計43名

カ 県内企業パンフレット提供事業

輸出を希望する県内企業の一押し商品をまとめたパンフレットを作成し、海外バイヤー等に提供した。

- ・参加企業：県内企業44社
- ・提供先：国内外バイヤー58社

キ バイヤー関心品目情報提供事業

輸出に取り組む県内企業に対して、国内外のバイヤーが希望する商品情報を提供した。

- ・参加バイヤー：国内外バイヤー10社
- ・申込企業数：県内企業13社

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により対面式イベントは中止としたが、オンライン商談会の実施やパンフレット等を活用した情報提供により、本県産品の海外における販路開拓が促進された。また、国際的な人の往来ができない中、県内企業の渡航を伴わない海外でのフェア等の実施により、本県産品の販売促進及び本県の認知度向上が図られた。

(3) 上海マーケット開発推進事業（かごしまPR課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

県上海事務所を中心に、中国における本県産品の販路拡大や、本県の認知度向上等を図るため、県産品のPRや販売促進活動、バイヤー等招へいによる商談会や産地視察等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

県産品（焼酎、県産食品等）のPRや試食・販売を行った。

ア 県産品のPR及び販売促進活動

名 称	期 間	場 所
日本食レストラン「西村」での鰯の解体ショー及び焼酎の試飲会	令和2年11月7日、12月12日・24日	シャングリアホテル北京「西村」（北京市）
大型温泉施設「漣泉大江戸」での観光と食のプロモーション	令和2年12月5日、令和3年1月9日	漣泉大江戸（上海市）
北京「一元」での焼酎とブリのプロモーション	1) オープニングイベント：令和2年12月13日 2) 令和2年12月21日～令和3年1月10日	SAKE & JAPANESE CUISINE 一元MOTO（北京市）
在上海日本国総領事館での食と観光プロモーション	令和2年12月19日	在上海日本国総領事館（上海市）
北京「一元」での九州焼酎プロモーション	令和3年2月27日～3月28日 ※鹿児島焼酎PR期間：令和3年2月27日～3月28日	SAKE & JAPANESE CUISINE 一元MOTO（北京市）
天津伊勢丹での「地域産品の販路開拓支援及び地域の魅力PR事業」でのプロモーション	令和3年3月11日～24日	天津伊勢丹（天津市）

イ 展示・商談会等

名 称	期 間	場 所
煙台市アウトレットモール内「鹿児島館」出展商談会	令和2年7月10日	鹿児島市
「蘇州中日商品交流会」での焼酎の試飲PR・商談	令和2年9月11日	The Walnut Music Restaurant & Bar（高鉄新城店）（蘇州市）
「シアルチャイナ」での和牛のPR・商談	令和2年9月28日～30日	上海国家会展中心（上海市）
現地バイヤーとのオンライン商談会	1) 令和2年11月27日 2) 令和3年3月22日	オンライン

ウ バイヤー等招へいによる商談会及び産地視察

年度	件数	招へい数	被招へい者
H30	2件	2社・団体	小売関係者、流通関係者等
R1	1件	4社・団体	現地インポーター、飲食店関係者等
R2	—	—	—

エ 視聴視察・調査等

名 称	期 間	場 所
上海マーケットフィージビリティ・スタディ	令和2年11月4日～ 令和3年1月29日	上海市内小売店等
日本食レストランでのテストマーケティング	令和2年12月7日～28日	うまや上海静安本店(上海市)

オ 上海事務所の活動状況等

年度	情報提供・市場調査	県内企業等訪問	貿易・取引等相談	事業企画・調整	その他国際交流
H30	185件	73件	49件	516件	207件
R1	237件	92件	61件	659件	264件
R2	249件	97件	64件	693件	277件

〈3〉 施策の実施による成果 (アウトカム)

商談会等の実施により、本県産品の販路開拓が促進された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により国際的な人の往来ができない中、上海事務所を活用した情報収集・提供や、県内企業の渡航を伴わない現地でのフェア実施や展示会等への出展により、本県産品及び本県の認知度向上が図られた。

(4) ASEANマーケット販路拡大事業 (かごしまPR課) 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

ASEANの経済、金融の中心であるシンガポールを中心として、現地の人材を活用して、以下の業務を推進することにより、ASEANにおける県産品の販路開拓や観光誘客の促進などを図る。

〈2〉 施策の実施状況 (アウトプット)

鹿児島県ASEANディレクターを委嘱し、シンガポールを起点としたASEAN地域における活動を実施した。

ア ASEANディレクターの委嘱

(ア) 氏名

シュ・ユエンシャオ・ケナード氏

(イ) 委嘱日

平成28年4月27日

(ウ) 業務遂行場所

シンガポールを起点としたASEAN地域

(エ) 業務内容

- ・現地企業への定期的訪問及び意見交換による情報収集
- ・マーケティング調査
- ・人的ネットワークの構築
- ・現地メディアやイベントへのPR・広報活動の支援
- ・本県からの進出企業への支援
- ・企画・立案の構築及び実施

イ 情報発信事業

名 称	期 間	場 所
シンガポールオンラインセミナー	令和2年10月2日	オンライン

ウ 県産品のPR及び販売促進活動

名 称	期 間	場 所
旅行代理店による「鹿児島ミニフェア」	令和3年2月15日～4月30日	㈱H. I. S. シンガポール支店

エ 活動状況等

年度	市場調査等	商談会, イベント等PR	貿易・取引等
H30	5件	13件	3件
R1	2件	18件	2件
R2	1件	20件	5件

<3> 施策の実施による成果 (アトカム)

イベント等の実施により、ASEAN地域における本県産品の販路開拓が促進された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により国際的な人の往来ができない中、ASEANディレクターを活用した情報収集・提供や、県内企業の渡航を伴わないフェア等の開催により、本県の認知度向上が図られた。

(4) 国際化と多文化共生の実現

① 交流会議等を核とした国際交流の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	158,976	—	68,176	90,800	148,818	—	68,113	80,705
内	第22回鹿児島・香港交流会議	516	—	—	516	0	—	0
	アジア地域との交流	2,121	—	—	2,121	77	—	77
	アジアかごしまクラブ形成事業	956	—	—	956	911	—	911
	海外技術協力等推進事業	936	—	—	936	0	—	0
	アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業	47,496	—	44,000	3,496	47,496	—	44,000
	アジア・太平洋農村研修センター改修事業	9,355	—	—	9,355	8,470	—	8,470
	外国青年招致事業	17,924	—	—	17,924	15,371	—	15,371
	海外情報ネットワーク形成事業	83	—	—	83	67	—	67
	渡航事務事業	52,870	—	6,176	46,694	51,563	—	6,113
	国際交流企画管理事業	22,798	—	18,000	4,798	22,628	—	18,000
	渉外事務事業	823	—	—	823	635	—	635
	在外県人会等育成事業	1,126	—	—	1,126	1,062	—	1,062
	清華大学との交流促進事業	888	—	—	888	1	—	1
	ブラジル鹿児島県人会館改修補助事業	500	—	—	500	500	—	500
訳	英国自治体との交流促進事業	296	—	—	296	0	—	0
	米国ジョージア州との交流	288	—	—	288	37	—	37
計	158,976	—	68,176	90,800	148,818	—	68,113	80,705

(1) 第22回鹿児島・香港交流会議（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展を遂げている香港との各般にわたる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域における国際ビジネスの拠点となっている香港との各般にわたる交流を促進するため、第22回鹿児島・香港交流会議を香港で開催予定だったが、渡航制限等により香港での開催が困難となったため、書面により開催した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

芸術文化交流、青少年交流、経済交流、観光PRなど、今後の具体的な交流プログラム7項目について合意がなされた。

(2) アジア地域との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

国際化の進展に対応するため、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を目指し、韓国全羅北道、中国江蘇省との交流協議会の合意に基づいた取組等を通じて、更なる交流の促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 韓国全羅北道との交流

平成元年（1989年）に調印した「友好協力の推進に関する共同宣言」に基づき、30年以上に渡り、行政間交流をはじめ各般の交流を推進してきた。令和2年度は、オンラインによる会議を実施し、コロナ禍における交流のあり方等について確認を行った。

実施日：令和2年11月27日

出席者：県国際交流課4人、全羅北道国際協力課4人

イ 第23回鹿児島県・江蘇省交流協議会

鹿児島県と江蘇省との友好交流の関係を強化するため、観光・経済分野における交流の一層の充実・拡大など、今後の交流の在り方等について、江蘇省を訪問し協議を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、文書協議を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

長年に渡り続けてきた友好交流の継続及び今後のさらなる交流の促進が確認された。

(3) アジアかごしまクラブ形成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジア地域との様々な分野での交流を拡大するため、これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークの形成を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域との人的ネットワークの形成を推進するために設立した香港、シンガポール、韓国全羅北道のアジアかごしまクラブへの活動助成を行った。

＜クラブの状況＞（各年5月1日現在）

（単位：人）

ク ラ ブ 名	会 員 数			
	設立時	H30	R1	R2
香 港 か ご し ま ク ラ ブ	173	400	400	400
かごしまクラブシンガポール	41	127	127	130
全羅北道かごしまクラブ	42	211	213	214

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

各地のかごしまクラブの活動により、人的交流などが円滑に促進された。

(4) 海外技術協力等推進事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

開発途上国から技術研修員を受け入れ、その国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、相互の経済・文化の交流促進に寄与する。

また、南米における本県出身移住者の子弟を県内の大学に留学させ、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

海外技術研修員及び県費留学生において、各3人を受入予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、本人たちの研修又は留学辞退の申し出を受け、令和2年度は受入中止とした。

(5) アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジアを中心とする海外からの研修生の受入れや、これらの人々と県民との交流を通じた国際理解の増進、生活・文化学習など多様な機能を有するアジア・太平洋農村研修センターの円滑な管理運営を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

アジア・太平洋農村研修センターの維持管理及び国際交流・理解に係る研修等を実施した。

〈利用実績〉

年 度	H30	R1	R2
利用者数	12,452人（うち外国人2,116人）	11,683人（うち外国人1,982人）	5,281人（うち外国人117人）
研修団体数	221団体	195団体	77団体

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

県民や在留外国人による研修利用がなされたことにより、交流を通じた国際理解の促進が図られた。

(6) アジア・太平洋農村研修センター改修事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

アジア・太平洋農村研修センターの機能維持のため、改修等を行う。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

老朽化していた高圧電気設備や給水ポンプ、空調設備の改修を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

同センターの機能維持及び利用者の利便性・安全性の向上が図られた。

(7) 外国青年招致事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

本県における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の促進に資するため、語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

「語学指導等を行う外国青年招致事業（昭和62年度～）」により、県及び市町村に国際交流員9人、外国語指導助手94人の外国青年を配置した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う水際対策の強化に伴い、令和2年度の新規受入れは3人だった。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

県及び市町村に配置された国際交流員及び外国語指導助手を活用することにより、国際交流の推進や外国語教育の質の向上が図られた。

(8) 海外情報ネットワーク形成事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

本県の海外でのイメージや知名度の向上を図るとともに、海外の観光客の誘致促進、県産品の販路拡大など、観光をはじめとする本県産業の振興に資する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

本県と海外との永年の交流の中で培ってきた人的ネットワーク等を活用し、海外向けに本県の観光・物産等のPR記事を掲載した外国語（英語・韓国語）及び日本語によるメールマガジンを発行し、情報発信を行った。

メールマガジン登録者数（各年度3月末時点）（単位：人）

年度	英 語	中国語	韓国語	日本語	合 計
H30	525	241	115	518	1,399
R1	686	246	131	581	1,644
R2	699	253	133	598	1,683

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

本県の観光や特産品等に関する情報を発信することにより、本県のイメージや知名度の向上、産業振興の促進が図られた。

(9) 渡航事務事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

旅券法の規定により、国からの法定受託事務である旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅券の発給申請の受理、作成、交付等の事務を処理した。

年度	旅券交付件数
H30	29,335件
R1	27,220件
R2	3,061件

イ 県民サービスの一層の向上を図るため、「鹿児島県事務処理の特例に関する条例」に基づき、旅券の発給申請の受理、交付等の事務を権限移譲している。

<権限移譲市町村>

開始時期	移譲先市町村	市町村数
平成19年4月1日	与論町	1
平成20年4月1日	出水市, 阿久根市, 霧島市	3
平成22年4月1日	鹿屋市, 西之表市, 伊佐市, 錦江町, 南大隅町, 中種子町, 南種子町, 大和村, 徳之島町	9
平成23年4月1日	指宿市, 垂水市, 南九州市, さつま町, 長島町, 湧水町, 宇検村, 伊仙町	8
平成24年4月1日	志布志市, 大崎町, 肝付町, 天城町, 和泊町, 知名町	6
平成25年4月1日	枕崎市, 曾於市, 東串良町, 瀬戸内町, 喜界町	5
平成26年4月1日	日置市, 南さつま市, 奄美市, 屋久島町, 龍郷町	5
平成27年4月1日	いちき串木野市	1
平成29年4月1日	始良市	1
合 計		39

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

適切な事務を行うことによって、円滑かつ正確な旅券の発給を行うことができた。

(10) 国際交流企画管理事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

国際交流施策の総合的な企画立案を行うとともに、都道府県、九州各県及び県内市町村との連絡調整や意見交換を行い、国際交流の推進を図る。

また、地方公共団体の共同組織として設立された（一財）自治体国際化協会の運営に要する経費の一部を負担し、地域レベルの国際化推進等を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国際交流推進連絡

庁内における各種国際交流事業の総合的企画・連絡調整を行うとともに、今後の国際交流を幅広く推進するため、各都道府県・県内国際交流団体との意見交換を行った。

(イ) 地域国際化連絡会議

書面開催

イ （一財）自治体国際化協会負担金

外国青年招致事業等を実施する同協会に対して負担金を支払った。

ウ 市町村からの派遣職員に係る給与負担金

市町村からの相互派遣職員に係る給与負担金を阿久根市へ支払った。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

各都道府県、九州各県、県内市町村及び県内国際交流団体との相互連携を深め、国際交流施策の円滑な推進が図られた。

(11) 渉外事務事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

関係国との友好を深め、県民の国際理解・友好親善等を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 外国大使・総領事、使節団等の来鹿に伴う接遇及び通訳、公文書等の翻訳を行った。

年 度	H30	R1	R2
接 遇 及 び 通 訳	8件	9件	12件
公文書等の翻訳	332件	394件	210件

イ 北方領土返還要求運動に係る広報等の協力や、青年海外協力隊活動の支援を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

関係国との相互理解及び友好関係を促進し、国際協力に寄与した。また、翻訳により、県の海外交流の促進、多言語でのPR等に寄与した。

(12) 在外県人会等育成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

県海外移住家族会や在外県人会等と協力して本県出身移住者の援助促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

海外移住者の安定化を図るため、（公財）鹿児島県国際交流協会及び鹿児島県海外移住家族会の事業に対し助成を行うとともに、関係機関や在外県人会等との連絡調整を行った。

ア 在外県人会等育成費補助金

- ・（公財）鹿児島県国際交流協会に対し、補助金を交付（960千円）
- ・同協会が4在外県人会と業務委託契約し、移住者の援護指導、消息不明者の調査、子弟の育成・指導等を実施。  
（ブラジル560千円、アルゼンチン184千円、ペルー104千円、パラグアイ80千円、事務費32千円）

イ 鹿児島県海外移住家族会協力活動費補助金

- ・鹿児島県海外移住家族会に対し、補助金を交付（100千円）  
（在外県人会に係る情報提供、親善交流、移住者援護等）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

在外県人会による現地での活動が促進され、海外における本県の認知度向上が図られた。

(13) 清華大学との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

平成25年8月に締結した清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年度は中止した。

ア 青少年学生交流

（ア）清華大学留学支援奨学金交付事業（国際交流課）

イ 学術交流

（イ）文化芸術交流事業（文化振興課）

（イ）環境分野交流事業（環境林務課）

(14) ブラジル鹿児島県人会館改修補助事業（国際交流課）

〈1〉 施策の目的

ブラジル鹿児島県人会の活動促進のため

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

サンパウロにあるブラジル鹿児島県人会館の改修に伴い、本県のPRの場としての活用や、本県との結びつきの強化が期待されることから、改修費用の一部の補助を行った。

ア 改修内容

- ・非常灯の設置（8か所）
- ・障がい者用トイレの仕上げ
- ・プールカバーの設置
- ・車椅子用スロープの設置

イ 補助額

500,000円

ウ 事業完了日

令和3年3月15日

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

利用者の利便性・安全性が向上するとともに、本県と同県人会との結びつきがさらに強化された。

(15) 英国自治体との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

友好協定を締結している英国自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、未来の鹿児島を担うグローバルな人材の育成を図るとともに、鹿児島と英国との更なる交流を促進する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

友好協定を締結している英国地方自治体との間で首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、交流の促進を図ることとしていたが、相互の往来が困難となったため中止した。

ア マンチェスター市長来鹿

イ 薩摩スチューデントの派遣

ウ ロンドン・カムデン区青少年等来鹿

(16) 米国ジョージア州との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

昭和41年、本県と姉妹盟約を結んだ米国ジョージア州との間で、さらなる交流促進に向けた取組を行い、両県州の親善関係を強化していく。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

姉妹盟約を締結している米国ジョージア州知事等の受入れや、大学生を対象にした相互理解講座の実施により、親善関係の強化を図ることとしていたが、州知事及び留学生の来日が困難となったため中止した。

② 日本人と外国人が共生する地域づくり

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	52,569	880	12,000	39,689	46,777	478	12,100	34,199
内								
かごしま留学生支援事業	2,445	—	2,000	445	2,411	—	2,000	411
国際交流プラザ設置事業	18,580	—	10,000	8,580	18,557	—	10,000	8,557
かごしま多文化共生社会推進事業	2,344	880	—	1,464	1,081	478	100	503
訳								
鹿児島県国際交流センター管理運営事業	29,200	—	—	29,200	24,728	—	—	24,728
計	52,569	880	12,000	39,689	46,777	478	12,100	34,199

(1) かごしま留学生支援事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

私費外国人留学生の勉学・生活の安定化と将来の人的ネットワークの形成に資するため、県内大学等に在籍する留学生に対し、奨学金を交付する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

県内在住の私費外国人留学生10人に、月額20千円の奨学金を交付した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

留学生による県内の国際交流イベントへの参加等が促進されるとともに、将来の人的ネットワーク構築に寄与した。

(2) 国際交流プラザ設置事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

県民と外国人の相互理解を深めるため、国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体へ交流の場や情報の提供を行うほか、各種相談対応、語学等に関する研修を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

諸外国の生活・文化等の情報提供、県民からの海外渡航等に関する相談への対応、外国人による語学・文化講座等を実施した。

＜利用実績＞

年 度	H30	R1	R2
国際交流プラザ利用者	15,821人	16,395人	9,959人
相 談 件 数	199件	162件	51件

※ 令和元年10月から、外国人からの相談は外国人総合相談窓口で対応しているため、令和元年度以降の相談件数は外国人以外からの相談件数を計上

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民向けの各種情報の提供・発信や相談受付のほか、外国語講座や文化講座等の実施を通じて、県民の国際理解が深まった。

また、在留外国人との交流が促進されることで、多文化共生社会の実現の促進が図られた。

(3) かごしま多文化共生社会推進事業（国際交流課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るため、県民と在留外国人との多文化共生社会の実現に向けた取組を実施する。

## ＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

外国人が住みやすい魅力的な鹿児島の実現を図るとともに、多くの外国人が県内各地で活躍できるよう、県民と在留外国人の交流イベント、講座の開催や地域における特色ある交流活動等を支援するほか、日本語等講座の実施や日本語サポーターの養成、関係機関による連絡会議などを開催した。

### ア 在留外国人と県民との交流促進事業（かごしま多文化共生社会推進事業補助金）

内容：歴史・文化ツアー（※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため一部中止）

食を通じた交流事業（※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため全部中止）

### イ 日本語・日本文化等理解講座の実施

実施日：令和2年10月11日、10月25日、11月8日、11月22日、11月29日

### ウ 日本語サポーター（語学ボランティア）の養成

実施日：令和2年10月25日、11月8日、11月22日、11月29日、12月13日、12月27日

対象地域：北薩地域（さつま町）

（※大隅地域（曾於市）についても、令和3年1月9日以降全6回の講座を実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため中止）

### エ 関係機関との連絡調整

#### （ア）庁内連絡会議の開催

実施日：令和3年2月2日

内容：関連施策等とりまとめ、令和3年度実施予定の関連施策に関する情報共有など

#### （イ）市町村連絡会議の開催

実施日：令和2年10月6日

内容：多文化共生社会推進に関する情報提供及び意見交換など

#### （ウ）日本語教室代表者ネットワーク会議の開催

実施日：令和2年11月25日

内容：顔合わせ、課題共有など

## ＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

補助金の交付や各種講座・会議の開催を通じて、多文化共生社会の推進が図られた。

特に日本語サポーター養成講座については、講座に参加した受講生により在留外国人の日本語学習を支援する団体が設立されるなど、当該事業の実施が市町村における在留外国人支援の充実に繋がった。

## （4）鹿児島県国際交流センター管理運営事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

### ＜1＞ 施策の目的

留学生等に宿泊施設を提供するとともに、留学生等の相互交流や留学生等と県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材の育成及び国際相互理解の促進を図るために設置した、鹿児島県国際交流センターの管理運営を行う。

### ＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

令和2年4月1日より供用が開始された「かごしま国際交流センター」において、留学生等へ宿泊施設を提供し、留学生等の相互交流や県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材育成、国際相互理解促進を図った。

#### ア 事業内容

センターの管理運営の委託 [指定管理]

##### （ア）施設の維持管理に関する業務

##### （イ）施設を利用した事業の企画及び実施に関する業務

##### （ウ）施設の利用者の募集及び利用の許可に関する業務

##### （エ）施設の利用に係る料金に関する業務 等

#### イ 令和2年度管理業務の実施状況

（ア）入居者数 23人（うち外国人 17人）

（イ）指定管理者 鹿児島国際交流促進センター

ウ 関係機関との連絡調整

かごしま国際交流センター管理運営連絡会議 令和2年度代表者会

実施日：令和2年7月14日

内 容：今年度の事業計画，現在の指定管理者間の連携状況，今後の連携や実務者間で協議していく事項についてなど

<3> 施策の実施による成果（アトカム）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，留学生の多くが入国できず居室数に対して入居者数が少ない状況となったが，感染対策をとりながら関係団体と連携して交流事業や研修事業を実施し，人材育成及び国際相互理解の促進が図られた。

(5) 「鹿児島県のウェルネス」のブランド化と交流の促進

① 「鹿児島県のウェルネス」を活用した誘客促進

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
観光費	6,000	2,700	—	3,300	5,627	2,693	—	2,934
内「鹿児島県のウェルネス」 観光客誘致促進事業	6,000	2,700	—	3,300	5,627	2,693	—	2,934
計	6,000	2,700	—	3,300	5,627	2,693	—	2,934

(1) 「鹿児島県のウェルネス」観光客誘致促進事業（観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

鹿児島県のウェルネス素材を活用した体験プログラムの開発と効果的な情報発信によりウェルネスツーリズムによる誘客促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 「鹿児島県のウェルネス」観光客誘致促進事業

体験プログラムの開発・モニターツアーの実施

コース	日程	参加者
阿久根・甕島	令和2年11月6日～7日	①雑誌出版社等2社2名 ②名古屋・福岡在住インフルエンサー2名
伊佐・いちき串木野・日置	令和2年11月12日～13日	雑誌出版社等4社4名

モニターツアー実施後、参加者の雑誌媒体やweb媒体、instagramによる情報発信を実施した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ禍により高まる「健康・癒やし・長寿」への関心に対応する、地域毎のウェルネス素材を活用した体験プログラムの開発を行うとともに、インフルエンサーの招聘やモニターツアーの実施等により、モデルコースの形成や情報発信が図られた。

## 10 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

### (1) イノベーションの創出と競争力のある産業の振興

#### ① 地域特性を生かした産業の振興

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳			
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源	
商 業 振 興 費	5,819	2,656	—	3,163	5,351	2,551	—	2,800	
内 訳 特産品等販路開拓支援事業	5,819	2,656	—	3,163	5,351	2,551	—	2,800	
中 小 企 業 振 興 費	82,446	3,936	40,162	38,348	81,106	3,915	40,162	37,029	
内 訳	伝統的工芸品産業振興対策事業	2,590	—	162	2,428	2,523	—	162	2,361
	大島紬振興対策事業	815	—	—	815	579	—	—	579
	伝統的工芸品産業振興資金貸付事業	40,000	—	40,000	—	40,000	—	40,000	—
	鹿児島ブランド支援センター事業	28,542	—	—	28,542	28,542	—	—	28,542
	薩摩焼需要開拓事業	840	—	—	840	840	—	—	840
	「目指せ！日本一」かごしまの本格焼酎魅力発信事業	4,044	1,570	—	2,474	3,754	1,569	—	2,185
	かごしまの本格焼酎海外展開事業	3,618	1,368	—	2,250	2,885	1,367	—	1,518
伝統的工芸品等販路拡大支援事業	1,997	998	—	999	1,983	979	—	1,004	
計	88,265	6,592	40,162	41,511	86,457	6,466	40,162	39,829	

#### (1) 特産品等販路開拓支援事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

##### <1> 施策の目的

地域の特産物、観光資源等を活用した地域産業おこしを図り、地域小規模事業者の新たな事業機会の創出を図る。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

特産振興支援員を設置し、地域の資源・技術等を活用した特産品の開発、販路開拓等を推進指導した。

	年度	工 芸 品	食 品
訪問指導数等	H30	143か所	205か所
	R1	200か所	250か所
	R2	175か所	220か所

##### <3> 施策の実施による成果（アウトカム）

専門家指導を通じて、事業者が品質改良や新たな特産品開発、販路開拓による事業機会の拡大につながった。

#### (2) 伝統的工芸品産業振興対策事業（かごしまPR課）

##### <1> 施策の目的

伝統的工芸品産業の振興を図るため、本県の伝統的工芸品の振興方針の検討を行うとともに、(一財)伝統的工芸品産業振興協会が実施するイベント等に参加した。

##### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 鹿児島県伝統的工芸品産業振興対策協議会の開催

名 称	実 施 日	内 容
鹿児島県伝統的工芸品産業振興対策協議会	令和3年3月29日	県伝統的工芸品の指定（1件）及び解除等（11件）について協議

イ 伝統的工芸品展WAZA2021（東京）への出展

年度	実施日	場 所	出 展 品
H30	平成31年2月21日～26日	東武百貨店池袋店（東京都）	本場大島紬，薩摩焼，県指定伝統的工芸品 （薩摩つげ櫛，薩摩深水刃物）
R1	令和2年2月20日～25日	東武百貨店池袋店（東京都）	本場大島紬，薩摩焼，県指定伝統的工芸品 （薩摩つげ櫛，薩摩糸びな）
R2	令和3年2月18日～23日	東武百貨店池袋店（東京都）	本場大島紬，薩摩焼，県指定伝統的工芸品 （薩摩つげ櫛）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等の機会が減少する中，首都圏最大級の伝統的工芸品販売イベントへの出展を通じて，本県伝統的工芸品の認知度の向上及び販売促進が図られた。

(3) 大島紬振興対策事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

国の伝統的工芸品に指定されている本場大島紬の振興発展を図るため，産地組合が振興計画に基づいて行う事業に対して助成するとともに，生産者の技術向上対策等の事業を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

産地組合が振興計画に基づいて行う事業に対して助成する計画だったが，新型コロナウイルス感染症の影響により，事業の一部が中止となったため，開催準備等に要した経費に対して助成した。

ア 需要開拓事業

(ア) 事業主体 鹿児島県本場大島紬協同組合連合会

(イ) 事業内容 一般消費者を対象とした試着体験及び新作大島紬展示等を行う計画だったが，新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

年度	実施日	場 所	内 容
H30	平成31年2月10日， 21日～26日	天文館屋根裏ギャラリー （鹿児島市）	一般消費者を対象とした試着体験及び新作大島紬展示，製造工程の実演・体験
R1	令和元年2月27日～3月1日 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	ふくい南青山291 （東京都）	広告宣伝，関係団体との打合せ 等
R2	令和3年2月23日～2月25日 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	京都産業会館ホール （京都府）	広告宣伝，関係団体との打合せ 等

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは中止としたが，新聞等で幅広く広告宣伝を行い，関西圏における本場大島紬のPRに努めた。

(4) 伝統的工芸品産業振興資金貸付事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

伝統的工芸品産業（本場大島紬，川辺仏壇，薩摩焼）の経営の安定・合理化を図るため，必要な資金を融資する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

本場大島紬をはじめとする国指定伝統的工芸品の製造業者及びこれらを構成員とする組合への低利資金融資を行った。

伝統的工芸品産業振興資金

取扱金融機関 商工組合中央金庫鹿児島支店  
原資（県貸付金） 40,000 千円

融 資 枠 120,000 千円  
 限 度 額 個人・法人 25,000千円, 組合 100,000千円  
 貸 付 期 間 1年以内  
 貸 付 利 率 個人・法人 1.975% (転貸手数料0.5%を含む), 組合 1.475%  
 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

貸 付 実 績

区 分	H30年度	R1年度	R2年度
融 資 件 数	25件	12件	9件
融 資 額	187,422千円	151,651千円	125,148千円
年 度 末 残 高	119,049千円	97,868千円	95,008千円

<3> 施策の実施による成果 (アウトカム)

伝統的工芸品産業に対して、金融機関を通じて必要な資金を融資することで、経営の安定化等が図られた。

(5) 鹿児島ブランド支援センター事業 (かごしまPR課)

<1> 施策の目的

個性化、多様化していく消費者ニーズに的確に対応した「売れる商品づくり」を支援するとともに、(公社)鹿児島県特産品協会東京駐在員によるかごしま遊楽館でのテスト販売等を通じた情報の受発信に努め、本県特産品の振興を図る。

<2> 施策の実施状況 (アウトプット)

ア 鹿児島ブランド支援センター事業

新商品の開発や市場展開など多岐にわたる相談に対し、アドバイザーを紹介・斡旋するなど、「売れる商品づくり」に向けた取組を支援した。

(ア) 事業主体 (公社)鹿児島県特産品協会

(イ) 事業内容

a 県産品支援相談事業

企業・団体等の商品開発、市場展開などの相談に応じ、「売れる商品づくり」を支援した。

年 度	相談件数	内 容
H30	222件	主に販路開拓, 市場状況等の情報提供
R1	234件	主に販路開拓, 市場状況等の情報提供
R2	218件	主に販路開拓, 市場状況等の情報提供

b かごしまの新特産品コンクール事業

県内で新たに開発・製造・改良された商品のコンクールを開催し、入賞商品を県内外で開催される物産観光展等でPRした。

年 度	実 施 日	出 品 数			入賞商品		
			食 品	工 芸 品	食品部門	工芸品部門	
H30	平成30年10月10日	158社173品	119品	54品	22品	11品	11品
R1	令和元年10月8日	125社138品	103品	35品	22品	11品	11品
R2	令和2年11月30日	132社132品	93品	39品	22品	11品	11品

c ブランド化啓発事業

市場動向等をメールマガジン等により情報提供を行った。(メールマガジン配布先:約446事業所等)

d アドバイザー紹介活用事業

専門的な相談に対し、百貨店バイヤーや流通コンサルタントなど専門家を派遣し、指導・助言を実施した。

年 度	H30	R1	R2
研修会	12回	11回	7回
コンクール等	39回	38回	27回
個別指導	39件	60件	68件

e 県産品市場展開支援事業

(a) 商品力向上調査

加工食品のテスト販売を行い、バイヤーや消費者の商品に関する意見をとりまとめ、製造者に情報提供した。

年 度	H30	R1	R2
食品テスト販売品目数等	51社200品目	57社167品目	55社80品目

(b) 工芸品市場展開支援

かごしま遊楽館の工芸品ギャラリーにおいて、工芸品作家等自らが、消費者から商品についての意見を直接聞き、今後の商品の開発・改善に活かすための展示会を実施した。

年 度	H30	R1	R2
実施回数	18回	17回	8回

(c) 物産観光展での製作実演

首都圏や県内百貨店などで実施された観光物産展において、工芸品作家自らが製作実演を行うなど、消費者に、鹿児島県の伝統的工芸品をより身近に感じてもらうための取組を実施した。

年 度	H30	R1	R2
実施回数	1回	4回	5回

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

商品開発から市場展開までの「売れる商品づくり」に向けた幅広い支援を実施することにより、本県特産品の販路拡大が図られた。

(6) 薩摩焼需要開拓事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

薩摩焼業界に対して、需要開拓の支援を行い、産業の振興を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 事業主体 鹿児島県薩摩焼協同組合

イ 事業内容

(ア) 焼酎を楽しむ薩摩焼の器デザインによる新商品開発

「未来を担う子どもたちの楽しい食卓展」をテーマに薩摩焼の皿やどんぶりのデザインを開発するため、鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合、食育専門家、工業技術センター、地元百貨店関係者等の協力により、デザインを取りまとめ、26の薩摩焼蔵元の新商品を試作した。

実施年度	過 去 の 取 組 内 容
H30	31組の窯元と鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合等とのコラボで「薩摩焼が彩る西郷どんの食卓」の新商品開発
R1	30組の窯元と鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合等とのコラボで「薩摩焼が応援するアスリートの食卓」の新商品開発
R2	26組の窯元と鹿児島県飲食業生活衛生同業者組合等とのコラボで「未来を担う子どもたちの楽しい食卓展」の新商品開発

(イ) 新商品展示会

新商品の展示会「未来を担う子どもたちの楽しい食卓展」を開催した。

・実施日：令和2年12月2日～12月6日

・場 所：かごしま県民交流センター

実施年度	過 去 の 取 組 内 容	実 施 日
H30	コラボ新商品の展示会「薩摩焼が彩る西郷どんの食卓展」	平成30年11月28日～12月2日
R1	コラボ新商品の展示会「薩摩焼が応援するアスリートの食卓展」	令和元年11月27日～12月1日
R2	コラボ新商品の展示会「未来を担う子どもたちの楽しい食卓展」	令和2年12月2日～12月6日

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

需要開拓支援を通じて、薩摩焼の新商品開発や消費者へのPRにつながった。

- ・ 飲食業との商談件数：4件
- ・ 展示会来場者数：延べ 4,300人

(7) 「目指せ！日本一」かごしまの本格焼酎魅力発信事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県産本格焼酎の国内での認知度を高め、販路拡大を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 鹿児島本格焼酎プロモーションの実施

イオン東北（株）イオンスタイル名取店において、消費者を対象に焼酎タワー（焼酎瓶）の展示や焼酎炭酸割り用ノベルティの配布を実施

名 称	実施日	内 容
イオンスタイル名取店における焼酎PR	令和3年2月20日～23日	消費者を対象とした焼酎タワーの展示やノベルティの配布を実施

イ 本格焼酎の銘柄展示

県庁1階のエントランスホールに県内蔵元が製造する焼酎瓶の展示物の転倒防止策やPRパネルの制作を実施

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

東北地方における大手量販店でのPR活動を実施することで、未開拓市場における焼酎の認知度向上が図られるとともに、販売促進につながった。

(8) かごしまの本格焼酎海外展開事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県産本格焼酎の国外での認知度を高め、販路拡大を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア プロジェクトチームの設置

関係団体や酒造メーカー等を構成員とする鹿児島県焼酎輸出拡大等プロジェクト小委員会を開催し、本格焼酎の海外への認知度向上、輸出促進に向けた検討会を実施した。

検討会	実施日	場 所	議 題 等
第1回	令和2年12月12日	鹿児島県庁7階会議室	・ 令和元年度の活動実績について ・ 令和2年度の活動について 等

イ 鹿児島本格焼酎プロモーションの実施

英国ロンドンに本部を置くワインとスピリッツの教育機関WSETの講師との情報交換会を開催した。

名 称	実施日	内 容
WSET講師等とのオンライン交流会	令和3年3月16日	WSET講師等と県内蔵元とオンラインによる交流会を実施

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

ア プロジェクトチームの設置

鹿児島県焼酎輸出拡大等プロジェクト小委員会の検討会を実施することにより、本県産本格焼酎の国外での認知度向上・販路拡大に向けた連携強化が図られた。

イ 鹿児島本格焼酎プロモーションの実施

世界最大のワインとスピリッツの教育機関WSET等を活用したPR活動を行うことにより、海外における焼酎の更なる認知度向上等に繋げることができた。

(9) 伝統的工芸品等販路拡大支援事業（かごしまPR課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

伝統技術を継承するため伝統的工芸品の製作工程の記録映像を作成するとともに、PR動画も作成し、催事等で活用することで伝統的工芸品の認知度向上を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

「鹿児島の技」記録映像

県指定伝統的工芸品については、高齢化や後継者不足等の事由により生産が困難となっている品目が多くなってきているため、伝統技術を次世代へ継承するために、伝統的な技法を映像に記録し、技術の保存に取り組んだ。

実施年度	品目数	品目名
R1	6品目	薩摩弓、薩摩つけ櫛、薩摩深水刃物、鯛車、初鼓、香箱
R2	8品目	大漁旗、五月幟、薩摩糸びな、坊津ガラガラ船・唐カラ船、垂水人形、帖佐人形、鶴田和紙、蒲生和紙

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

PR動画を大都市圏での催事や鹿児島ブランドショップ、県ホームページ等で公開し、本県伝統的工芸品の認知度向上が図られた。

# 13 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策

## (1) 感染症拡大防止対策と医療体制整備

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
国際交流促進費	161,366	161,366	—	—	161,366	161,366	—	—
内訳 鹿児島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金造成事業	161,366	161,366	—	—	161,366	161,366	—	—
企画総務費	7,270	2,518	—	4,752	7,270	2,518	—	4,752
内訳 東京2020オリンピック聖火リレー実施事業	7,270	2,518	—	4,752	7,270	2,518	—	4,752
文化施設費	88,767	88,767	—	—	7,515	7,515	—	—
内訳 文化施設感染症防止対策事業	88,767	88,767	—	—	7,515	7,515	—	—
観光費	1,050,427	1,050,427	—	—	768,331	768,331	—	—
内訳 宿泊予約延期協力金事業	50,769	50,769	—	—	50,768	50,768	—	—
宿泊施設感染症防止対策支援事業	924,327	924,327	—	—	665,185	665,185	—	—
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	979	979	—	—	—	—	—	—
魅力ある観光地づくり事業	95	95	—	—	—	—	—	—
観光施設管理事業	21,157	21,157	—	—	—	—	—	—
内訳 観光バス等感染防止対策支援事業	53,100	53,100	—	—	52,378	52,378	—	—
計	1,307,830	1,303,078	—	4,752	944,482	939,730	—	4,752

文化施設感染症防止対策事業	翌年度への繰越額	81,139千円
宿泊施設感染症防止対策支援事業	翌年度への繰越額	229,157千円
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業	翌年度への繰越額	979千円
魅力ある観光地づくり事業	翌年度への繰越額	95千円
観光施設管理事業	翌年度への繰越額	21,157千円

### (1) 鹿児島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金造成事業（国際交流課）

#### <1> 施策の目的

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に関し、ホストタウン及び事前キャンプ地における外国人選手等の受入れに際しての新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の財源に充てるため、基金を造成する。

#### <2> 施策の実施状況（アウトプット）

国からの交付金を財源に鹿児島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金を造成した。

#### <3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ホストタウン及び事前キャンプ地において、外国人選手等を受け入れるに際しての新型コロナウイルス対策に要する経費に充てる財源を確保できた。

なお、造成した基金を活用してホストタウン及び事前キャンプ地において外国人選手等を受け入れ、新型コロナウイルス対策を講ずるのは令和3年度の予定である。

(2) 東京2020オリンピック聖火リレー実施事業（スポーツ振興課）（再掲）

2（2）（1）において前述

(3) 文化施設感染症防止対策事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

各施設に感染症防止に係る消耗品及びサーモカメラ等を購入し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

消耗品等の購入状況

品目	黎明館	文化センター	霧島国際 音楽ホール	霧島アート の森	合計
消毒液	600L	480L	120L	200L	1,400L
マスク（職員用）	111箱	51箱	39箱	33箱	234箱
非接触型体温計	3台	4台	2台	2台	11台
赤外線カメラ，三脚	1台	1台	1台	1台	4台

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

消毒液等の衛生用品の整備により、県有の文化施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながった。

(4) 宿泊予約延期協力金事業（観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、ゴールデンウィーク期間中の県外からの宿泊予約についての延期等の日程調整に協力を要請し、この要請に協力した宿泊事業者に対し、協力金を支給した。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

申請期間 5月11日（月）～6月30日（火）

支給額 1人泊当たり5,000円以内（1施設当たり上限10万円）

受付数 614件

支給件数 600件

支給総額 50,712,700円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

ゴールデンウィーク期間中の県外からの宿泊予約についての延期等の日程調整に協力した宿泊事業者に対し、協力金を支給し、宿泊施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止につながった。

(5) 宿泊施設感染防止対策支援事業（観光課）

<1> 施策の目的

県内の宿泊施設事業者を対象に感染防止対策を徹底するために必要な物品等の購入や施設の改修等の支援を行ったほか、セミナーを県内各地で開催し、各施設における感染防止コンシェルジュを養成した。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 宿泊施設感染防止対策支援事業

(ア) 小規模支援事業（機械購入費等）

補助率 10/10

限度額 40万円以内

対象費用 消毒液，マスク，アクリル板の購入 など

受付期間 令和2年8月24日～11月30日

実績 支給済件数：661件

支給済額：222,982千円

(イ) 大規模支援事業（施設等改修費用）

補助率 4/5

限度額 500万円以内

対象費用 換気設備の導入，センサー付き蛇口への改修 など

受付期間 令和2年8月24日～令和3年1月15日

実績 支給済件数：186件

支給済額：591,841千円

イ 新型コロナウイルス感染防止コンシェルジュ養成支援事業

時期 令和2年10月9日(金)～11月26日(木)

回数 全7回，計38会場

受講者 317名(そのうち，合格者303名・215施設)

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

宿泊施設における新型コロナウイルス感染防止対策が徹底され，安心安全の確保や収束後の事業回復を見据えた取組の強化につながった。

(6) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業（スポーツ振興課）

<1> 施策の目的

職員と利用者との接触を避け，安全に計測できるAI体温検知カメラ及びトレーニング室における利用者同士の感染リスクを避けるための飛沫感染予防対策パーテーションを購入し，新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し，事業を実施する。

(7) 魅力ある観光地づくり事業（観光課）

<1> 施策の目的

職員と建設工事等受注者との接触機会を縮減するため，非接触型の施工管理に必要なタブレット等機器の整備を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し，事業を実施する。

(8) 観光施設管理事業（観光課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症対策のため，自然公園等の観光施設に整備しているトイレの洋式化等の改修を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し，事業を実施する。

(9) 観光バス等感染防止対策支援事業（観光課）

<1> 施策の目的

人の移動を伴う経済活動により感染が拡大しないよう，県内観光バス・タクシー・レンタカー事業者を対象に感染防止対策を徹底するために必要な物品等の購入に対して支援を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

補助率 10/10

限度額 観光バス，観光周遊バス：1台あたり3万円

タクシー，レンタカー：1台あたり1万円

ただし1営業所あたり50万円まで

対象費用 衛生面の改善，水際対策，消毒液，マスクの購入費など

受付期間 令和2年10月12日～12月28日

実績 支給済件数：136件

支給済額：40,278千円

〈3〉 施策の実施による成果（アトカム）

観光バス・タクシー・レンタカーにおける新型コロナウイルス感染防止対策が徹底され、安心安全の確保や収束後の事業回復を見据えた取組の強化につながった。

## (2) 雇用の維持と事業の継続

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	8,400	8,400	—	—	1,561	1,561	—	—
内 訳 文化芸術公演等助成事業	8,400	8,400	—	—	1,561	1,561	—	—
商 業 総 務 費	25,000	25,000	—	—	25,000	25,000	—	—
内 訳 首都圏アンテナショップ（かごしま遊楽館）支援事業	25,000	25,000	—	—	25,000	25,000	—	—
中 小 企 業 振 興 費	33,250	33,250	—	—	33,250	33,250	—	—
内 訳 キバレ鹿児島！！県産品WEB販売促進支援事業	33,250	33,250	—	—	33,250	33,250	—	—
観 光 費	10,000	10,000	—	—	10,000	10,000	—	—
内 訳 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業	7,500	7,500	—	—	7,500	7,500	—	—
内 訳 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業	2,500	2,500	—	—	2,500	2,500	—	—
計	76,650	76,650	—	—	69,811	69,811	—	—

### (1) 文化芸術公演等助成事業(文化振興課)

#### <1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や延期を余儀なくされた文化芸術活動を支援するため、その再開や継続に取り組む文化芸術団体に対し、助成を行う。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

##### ア 中止公演等再開支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで中止や延期となっていた文化芸術の公演、展示会等を支援し、県民の文化芸術活動の発表の場及び鑑賞の機会の確保を図る（補助率：2分の1以内 上限500千円）。

応募団体数	助成団体数	助成額
4件	2件	150千円

##### イ 無観客公演等実施支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、公演等の開催が困難となった文化芸術団体等が実施する、無観客公演等を映像で配信する取り組みを支援し、県民に文化芸術活動の発表の場及び鑑賞の機会の確保を図る（補助率：2分の1以内 上限300千円）。

応募団体数	助成団体数	助成額
5件	5件	1,411千円

##### ウ 成果検証の実施：令和3年3月（書面開催）

#### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

文化芸術活動の発表の機会及び県民の鑑賞の機会が確保された。

### (2) 首都圏アンテナショップ（かごしま遊楽館）支援事業（かごしまPR課）

#### <1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の減少等により、施設運営に係る深刻な影響が生じているかごしま遊楽館の首都圏アンテナショップとしての役割を維持するため、入居企業の事業継続を支援するための支援金を交付する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

かごしま遊楽館入居企業2者に対し支援金を交付

- ・ さつまいも産業振興協同組合 5,000千円
- ・ 株式会社フェニックス 20,000千円

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下においても、かごしま遊楽館の施設運営の継続が図られることにより、首都圏アンテナショップとしての役割を維持することができた。

(3) キバレ鹿児島！！県産品WEB販売促進支援事業（かごしまPR課）

〈1〉 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により販売機会が減少している県産品の販売促進を図るため、県特産品協会のHPをリニューアルするほか、大手インターネットショッピングモールを活用したWEB物産展を開催する。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 県特産品協会のHPのリニューアル

令和2年6月1日にECサイト「かごいろ」としてリニューアルオープンし、県内事業者169社が349商品を販売した。

イ 大手インターネットショッピングモールを活用したWEB物産展の開催

楽天市場において、令和2年6月30日から7月29日の30日間、県内の100事業者が出店する「鹿児島県WEB物産展」を開催した。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

ECサイトや大手インターネットショッピングモールでの販売により、県産品の認知度向上と販売促進が図られた。

(4) 県民総ぐるみ・鹿児島ユナイテッドFC支援事業（スポーツ振興課）

〈1〉 施策の目的

鹿児島ユナイテッドFCが実施する新型コロナウイルス感染防止に必要な経費等の支援を通じ、円滑かつ安心安全に試合を観戦できる環境を確保し、スポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島ユナイテッドFCへ補助金を支出し、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費等の支援を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により、開幕の延期や試合会場への入場制限が行われたものの、2020シーズン（R2.6月～R2.12月）の年間総入場者数が37,635人となり、本県の交流人口の拡大、地域活性化に寄与した。

(5) 「鹿児島レブナイズ」活動強化支援事業（スポーツ振興課）

〈1〉 施策の目的

鹿児島レブナイズが実施する新型コロナウイルス感染防止に必要な経費等の支援を通じ、円滑かつ安心安全に試合を観戦できる環境を確保し、スポーツの振興に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島レブナイズへ補助金を支出し、新型コロナウイルス感染症対策に係る経費等の支援を行った。

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の影響により、開幕の延期や試合数の減少、試合会場への入場制限が行われたものの、2020-21シーズン（R3.1月～R3.6月）の年間総入場者数が9,438人となり、本県の交流人口の拡大、地域活性化に寄与した。

(3) 子育て世帯などへの支援

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫 支出金	その他の 特定財源	一般 財源		国庫 支出金	その他の 特定財源	一般 財源
企画総務費	10,330	10,330	—	—	—	—	—	—
内「明治日本の産業革命遺産」学習支援強化事業	10,330	10,330	—	—	—	—	—	—
計	10,330	10,330	—	—	—	—	—	—

「明治日本の産業革命遺産」学習支援強化事業 翌年度への繰越額 10,330千円

(1) 「明治日本の産業革命遺産」学習支援強化事業（世界文化遺産課）

<1> 施策の目的

副読本と併せて授業で使用する動画及びワークシートを作成・公開し教育現場で活用することで郷土に対する誇りと愛情の育成を図る。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(4) 経済活動の回復

(単位：千円)

予算科目	予算額	財源内訳			決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源		国庫支出金	その他の特定財源	一般財源
企画総務費	5,368	5,368	—	—	—	—	—	—
内訳	「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(「かごしま産業遺産の道」ホームページ活用促進事業)	5,368	5,368	—	—	—	—	—
文化推進費	26,001	26,001	—	—	1,561	1,561	—	—
内訳	文化芸術公演等助成事業	8,400	8,400	—	1,561	1,561	—	—
内訳	鶴丸城跡VR体感事業	13,915	13,915	—	—	—	—	—
内訳	「黎明館」「霧島アートの森」魅力発信事業	3,686	3,686	—	—	—	—	—
中小企業振興費	250,483	250,483	—	—	131,285	131,285	—	—
内訳	「かごしまの逸品！」特産品需要回復・拡大支援事業	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	—
内訳	キバレ鹿児島！！県産品販売促進事業	20,000	20,000	—	20,000	20,000	—	—
内訳	伝統的工芸品産業緊急対策支援事業	21,500	21,500	—	14,665	14,665	—	—
内訳	鹿児島県本格焼酎需要回復・消費拡大キャンペーン事業	82,620	82,620	—	82,620	82,620	—	—
内訳	キバレ鹿児島！！物産展販売促進支援事業	11,000	11,000	—	11,000	11,000	—	—
内訳	鹿児島県SHOCHU市場開拓事業	70,933	70,933	—	—	—	—	—
内訳	伝統的工芸品産業需要回復支援事業	18,000	18,000	—	—	—	—	—
内訳	キバレ鹿児島！WEB活用県産品販売促進事業	23,430	23,430	—	—	—	—	—
観光費	2,566,771	2,466,771	100,000	—	760,422	660,422	100,000	—
内訳	ディスカバー鹿児島キャンペーン事業	737,715	737,715	—	592,363	592,363	—	—
内訳	観光かごしま回復事業	826,510	726,510	100,000	165,281	65,281	100,000	—
内訳	観光かごしま再生事業	877,796	877,796	—	487	487	—	—
内訳	宿泊施設受入環境整備支援事業	117,500	117,500	—	—	—	—	—
内訳	県内スポーツ合宿促進事業	7,250	7,250	—	2,291	2,291	—	—
計	2,848,623	2,748,623	100,000	—	893,268	793,268	100,000	—

「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(「かごしま産業遺産の道」ホームページ活用促進事業)

翌年度への繰越額 5,368千円

鶴丸城跡VR体感事業	翌年度への繰越額	13,915千円
「黎明館」「霧島アートの森」魅力発信事業	翌年度への繰越額	3,686千円
鹿児島県SHOCHU市場開拓事業	翌年度への繰越額	70,933千円
伝統的工芸品産業需要回復支援事業	翌年度への繰越額	18,000千円
キバレ鹿児島！WEB活用県産品販売促進事業	翌年度への繰越額	23,430千円
ディスカバー鹿児島キャンペーン事業	翌年度への繰越額	144,780千円
観光かごしま回復事業	翌年度への繰越額	661,227千円

観光かごしま再生事業	翌年度への繰越額 877,308千円
宿泊施設受入環境整備支援事業	翌年度への繰越額 117,500千円

(1) 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業（「かごしま産業遺産の道」ホームページ活用促進事業）  
（世界文化遺産課）

<1> 施策の目的

「かごしま産業遺産の道」HPのモデルコースを活用したPR映像の作成・配信、モデルコースの更新を行うことで、来訪者の周遊促進、県内構成資産及び関連資産への理解の深化、遺産の次世代への継承を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(2) 文化芸術公演等助成事業（文化振興課）

13（2）（1）において前述

(3) 鶴丸城跡VR体感事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により減少した入館者の増加を図るため、「鶴丸城跡」の当時の様子をCGやVR技術等で再現するVRアプリを制作、情報発信する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(4) 「黎明館」「霧島アートの森」魅力発信事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

コロナ禍での外出自粛により利用者が減少している中、遠隔地でも展示物を観覧できる映像コンテンツの作成・配信を行い、臨時休館時や訪問が困難な方への鑑賞機会の提供及び利用者の増加を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(5) 「かごしまの逸品！」特産品需要回復・拡大支援事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で販売機会が減少している本県特産品の販売機会の確保を図り、本県特産品の認知度向上と需要拡大の支援を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 伝統的工芸品のPR販売イベントの実施

首都圏有名百貨店において、消費者を対象とした伝統的工芸品のフェアを開催した。

実施日	場所	出展品
令和3年2月10日～17日	株式会社松屋銀座店	本場大島紬、薩摩焼、県指定伝統工芸品（竹製品等）

イ ECサイト上のイベントに参加

日本最大級の「器の祭典」であるECサイト上のイベントにおいて、鹿児島県の事業者を一堂に閲覧できるページを開設し、PRや売上向上を図った。

実施日	場所	出展品
令和3年2月5日～14日	テーブルウェアフェスティバル2021 Online	薩摩焼、薩摩切子 など

ウ 商工会連合会への補助

特産品等の販路開拓、普及を支援するため、県商工会連合会が行う事業に対して助成を行った。

	年度	回数・参加者
イベント等の開催・出展	R2	26回 100事業者参加
専門家の派遣指導	R2	5回 5事業者

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響でイベント等の販売機会が減少する中、首都圏の百貨店やECサイトにおいて、伝統的工芸品の販売イベントを実施するとともに、かごしま特産品市場「かご市」で初めて地域単位のイベントを開催することで、特産品を県内外消費者に幅広くPRし、販路拡大につなげた。

(6) キバレ鹿児島！！県産品販売促進事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

本県特産品等の売上げ増加を図るため、オール鹿児島で「#かごしま県産品応援市」を開催する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

検温の実施や来場者名簿の整理などの感染症対策を実施の上、農林水産物や特産品、飲食物等を販売する「#かごしま県産品応援市」を開催した。

日 時：令和2年11月7日（土）及び8日（日）（いずれも午前10時～午後5時）

場 所：ウォーターフロントパークおよびドルフィンポート跡地

出店数：70（物販コーナー54ブース、ドライブスルー16ブース）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

イベントの実施により事業者等の売上げ向上に寄与したとともに、コロナ禍における「新しい形式」のイベント開催のあり方を示すことができた。

(7) 伝統的工芸品産業緊急対策支援事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で売上が減少している伝統的工芸品製造事業者等の需要拡大など、産地組合等が行う取組を支援し、県内伝統的工芸品産業の維持・安定を図った。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 事業主体 本場大島紬織物協同組合等 2団体48事業者

イ 補助額 14,665,000円（3/4以内）

ウ 補助内容 展示会・販売会等需要拡大の取組に対する補助

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

2団体48事業者の補助事業の活用における売上金額 約1.6億円

(8) 鹿児島県本格焼酎需要回復・消費拡大キャンペーン事業（かごしまPR課）

<1> 施策の目的

新型コロナウイルス感染症により、影響を受けている本県の本格焼酎業界の需要回復を図るため、焼酎業界と一体となって、「鹿児島県本格焼酎需要回復・消費拡大キャンペーン」を実施した。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 期 間 令和2年12月～令和3年2月

イ 対 象 全国酒販店等

ウ 内 容 応募券付き本格焼酎の販売促進や県産本格焼酎の魅力発信PR動画の配信 等

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

キャンペーン事業実施期間中の課税移出数量（出荷量）コロナ前同期比 99.8%

(9) キバレ鹿児島！！物産展販売促進支援事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

県産品の認知度向上を図るため、物産展の開催チラシ上での県産品PRや百貨店WEBサイトとの連携、来場者キャンペーン等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

水戸京成百貨店、東武百貨店池袋店、日本橋三越本店の物産展において、開催チラシ上の作成・増刷、紙面拡大、お買上抽選会、オンラインショップの開催、特別企画の実施等を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

開催チラシの増刷やお買上抽選会等により事業者等の売上げ向上に寄与したとともに、百貨店WEBサイトとの連携によって新たな販路を開拓できた。

(10) 鹿児島県SHOCHU市場開拓事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、本県本格焼酎の消費量が減少している中、県酒造組合等と連携して、新たな市場開拓及び販路拡大を図るため、海外及び国内においてプロモーション等の取組強化を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(11) 伝統的工芸品産業需要回復支援事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、売上減少等に苦しむ県内伝統的工芸品製造事業者を支援するため、伝統的工芸品産地組合等の新しい生活様式に対応した需要回復の取組等に対して補助を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(12) キバレ鹿児島！WEB活用県産品販売促進事業（かごしまPR課）

＜1＞ 施策の目的

県産品事業者を支援するため、昨年度設置した「かごしま特産品ねっと『かごいろ』」のさらなる活用を図ることにより、本県産品の販売を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(13) ディスカバー鹿児島キャンペーン事業（観光課）

＜1＞ 施策の目的

急激な観光客の減少に苦しむ観光業を守り、早期の需要回復を図るため、県民に対して、県内観光を促す宿泊助成等を行うとともに、国の経済対策に合わせた本県への誘客を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア ふるさと鹿児島魅力発見宿泊事業

県民向けの県内宿泊助成を実施した。

	助成内容	利用期間	利用枚数
宿泊券の発行(第1弾)	1人あたり10,000円分の宿泊券を20,000枚発行	令和2年6月20日(土) ～令和2年9月15日(火)	16,081枚
宿泊券の発行(第2弾)	1人あたり10,000円分の宿泊券を20,000枚発行	令和2年8月28日(金) ～令和2年10月18日(日)	12,818枚
タクシー券発行(第1弾のみ)	1組あたり3,000円(500円×6枚綴り)タクシー	令和2年6月20日(土)	25,185枚

件を10,000組(60,000枚)	～令和2年8月31日(月)
--------------------	---------------

イ ふるさと鹿児島お得旅事業

県民向けバス旅行商品の造成支援助成

催行期間	催行件数	催行人数
令和2年9月11日～令和2年11月23日	74件	1,310人

ウ 鹿児島プロモーション事業

本県の誇るウェルネス（健康、癒やし、長寿）や、世界遺産である屋久島、世界遺産登録を控える奄美群島の雄大な自然等の露出を強化し誘客を図る。

実施内容	実施時期	実績
イベント 博多駅広告ジャック	令和2年8月3日～9日	大画面ビジョン及び76面
動画配信(Youtube)	令和2年8月28日～11月末	6秒 約660千回 15秒 約462千回
動画配信(Instagram)	令和2年8月28日～11月末	15秒 約590千回
動画配信(LINE)	令和2年8月28日～11月末	15秒 約1,009千回
情報誌掲載 無料お宿情報誌「ゆこゆこ」	令和2年8月26日発行	全国会員 760万部
情報誌掲載 みちくさ9・10月号 みちくさ11・12月号	令和2年9月10日発行 令和2年11月10日発行	道の駅、駅、空港、ホテルなど約8,000箇所設置
オンラインイベント「Travel Girls Festa2020」 観光地紹介、奄美群島紹介、黒糖焼酎PR、島唄等	令和2年11月7日(土)	参加人数198人
イベント「トラベルガールズフェスタ2020」 奄美産蜜蝋を使った体験等	令和2年11月10日(火)	参加人数196人
メディア「るるぶ&more」 ①Web記事(2件) ②特設Webサイトの設置 ③インスタライブ ④サンプリング るるぶキッチン(新宿店)	①令和2年12月22日掲載 ②令和3年1月5日公開 ③令和3年3月5日実施 ④令和2年12月23日～27日実施	①22,325PV ②－ ③リアル総視聴者数1,310人 ④出数58

エ GoTo鹿児島たっぷりプレゼント事業

(ア) 特産品プレゼント

県外観光客に対し、抽選により特産品をプレゼントした。

申込件数 38,454件 当選件数 18,020人

(イ) 体験メニュープレゼント

県外観光客に対し、体験予約サイトで使用出来るクーポンを付与した。

クーポン利用実績 5,710名

オ 鹿児島巡り旅事業

県外観光客に対し、タクシー・レンタカー利用料金の割引助成をした。

区分	助成件数	助成金額
タクシー	3,348件	15,528,000円
	2,865件	うち令和2年度予算分 13,311,000円
	483件	うち令和3年度予算分 2,217,000円
レンタカー	18,185件	79,342,000円
	14,648件	うち令和2年度予算分 63,730,000円
	3,537件	うち令和3年度予算分 15,612,000円

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

国の経済対策に合わせた事業を展開することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により急激に落ち込んだ本県観光需要を、段階的に喚起することができた。

(14) 観光かごしま回復事業（観光課）

<1> 施策の目的

国体延期による宿泊需要の損失や、新型コロナウイルス感染症による観光客の減少に苦しむ宿泊施設事業者及びバス事業者を支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 今こそ鹿児島の旅事業（旅行商品割引助成）

旅行商品の割引助成を実施した。

・割引額：旅行代金の5割

上限額 本土10,000円、離島（奄美地域を除く）15,000円、離島（奄美群島）20,000円

(ア) 鹿児島県・九州域内（熊本・宮崎を除く）

助成実績 201,140,100円（25,838人泊）

（内訳：令和2年度予算分 83,096,300円（11,009人泊） 翌年度への繰越予算分 118,043,800円（14,829人泊））

(イ) 宮崎県民向け旅行商品割引助成

助成実績 14,239,100円（1,621人泊）

（内訳：令和2年度予算分 7,144,800円（811人泊） 翌年度への繰越予算分 7,094,300円（810人泊））

(ウ) 熊本県民向け旅行商品割引助成

助成実績 18,661,300円（2,052人泊）

（内訳：令和2年度予算分 2,136,700円（233人泊） 翌年度への繰越予算分 16,524,600円（1,819人泊））

イ 今こそ鹿児島の旅事業（県民向プレミアム付宿泊券）

県内宿泊施設で利用可能な宿泊券を県民限定で販売

・販売額：1セット（2,500円×2枚綴り）2,500円

・販売数：20,000セット（40,000枚）

・利用実績：39,577枚

ウ 誘客取組等支援事業

かごしま国体・大会の延期や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者が激減した宿泊施設及び貸切バス事業者が自ら行う、誘客取組や受入環境の整備等を支援することで、個々の事業者の特性を活かした更なる誘客による観光需要の回復を目指すとともに、鹿児島県における観光の新たな魅力発信を図る。

補助金交付実績額 73,723千円（204件）

（うち令和2年度予算分 23,123千円（54件））

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

コロナ禍で旅行者が落ち込む観光関連事業者の下支えをし、宿泊施設やバス事業者の誘客のための取組を支援することができた。

(15) 観光かごしま再生事業（観光課）

<1> 施策の目的

県民や県外旅行者が、本県の旅行に利用できるプレミアム付きクーポンの販売や県外観光客に対するタクシー・レンタカーの利用料割引助成、体験商品のプレゼント事業の開始に向けた制度設計等を行った。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

県民向けクーポン販売の告知（新聞広告掲載）

その他は、令和3年度へ繰越し、事業を実施する。

(16) 宿泊施設受入環境整備支援事業（観光課）

＜1＞ 施策の目的

新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復に向け、観光客の利用基盤となる宿泊施設のバリアフリー化整備の助成を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アクト）

令和3年度へ全額繰越し、事業を実施する。

(17) 県内スポーツ合宿促進事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、県外からのスポーツ合宿が減少していることから、県内スポーツ団体による県内合宿の宿泊費を助成し、県内でのスポーツ合宿を促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アクト）

ア 補助対象団体

本県でスポーツ合宿を行う県内のスポーツ団体

イ 補助額

(ア) 1人1泊当たりの補助額 1,000円（定額）

(イ) 1団体当たりの補助限度額 10万円

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 実績額等

(ア) 団体数 45団体

(イ) 延べ宿泊数 2,074泊

(ウ) 補助金確定額 2,074,000円

イ 事業の効果

実績団体からのアンケートによると、「本事業の補助金が活用できたので、新たに合宿を実施した」、「例年、県外で合宿をしているが、当該事業の補助金が活用できているので、県内合宿に変更して実施した」と回答した割合は約7割であり、補助金の活用で「合宿が充実した」、「合宿期間を延長できた」、「生徒の負担が減った」などの御意見も多数あったことから、当該事業が県内での合宿の掘り起こしに寄与したと考えている。